

# 社会資本総合整備計画（R8新規）

川崎駅周辺地区市街地の活性化（第3期計画）

令和8年1月27日

神奈川県川崎市

社会資本総合整備計画（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	川崎駅周辺地区市街地の活性化（第3期計画）			重点配分対象の該当	-
計画の期間	令和8年度～令和12年度（5年間）	交付対象	川崎市		
計画の目標					

大目標：本市の玄関口にふさわしい多様な魅力と活力にあふれた広域拠点の形成  
 目標1：駅周辺地区の一体化を進め、更なる成長を支える「核」の形成を進めるとともに、交通環境の適切な再編・整備を進めることにより交通結節点機能を強化する  
 目標2：安全性・快適性及びまちなみの景観の向上を図り、人と環境にやさしい居心地のよい空間づくりを推進する  
 目標3：多摩川などの自然環境や、歴史・文化・立地特性等の地域資源を活かすとともに、まちを支える「人」づくりを通じた個性的で賑わいのあるまちづくりを推進する

計画の成果目標（定量的指標）

- ・道路再編の再編と河川オープン化により、多摩川周辺に訪れる人が増え、歩行者通行量が増加する。
- ・歩行者専用道路化・利活用支援を行うことによる、居心地が良く歩きたくなる空間づくりにより、市民満足度が向上する。
- ・都市機能の集積と公共空間におけるアクティビティの活性化により、都市イメージが向上する。

定量的指標の定義及び算定式

	定量的指標の現況値及び目標値			備考								
	当初現況値 (R8当初)	中間目標値	最終目標値 (R12)									
京急川崎駅周辺の歩行者通行量	2,506人/日 (R7)	-	3,759人/日 (R12)	※「当初現況値」は計画策定時点（R7年度）における各指標の直近の算定値を記載 ※公開空地等の面積については、京急川崎駅周辺25番地地区優良建築物等整備事業が令和12年度、京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業が令和16年度の完了予定のため、関係する公開空地等の面積のみ本整備計画が完了する令和12年度時点の目標値を設定								
滞留空間に対する市民満足度の向上	- (R7)	-	67% (R12)									
都市空間のイメージの向上	25.6% (R7)	-	38.4% (R12)									
公開空地等の面積【R16目標値3,480㎡】	580㎡ (R7)	-	1,980㎡ (R12)									
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	百万円	A	5,294百万円	B	0百万円	C	0百万円	D	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

交付対象事業

A 基幹事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R8	R9	R10	R11	R12				
A-1	都市再生	一般	川崎市	直接	川崎市	川崎駅周辺地区都市再生整備計画事業	都市再生整備計画区域 267.4ha	川崎市						400	-	-	
A-2	住宅	一般	川崎市	間接	個人施行者	京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業（先行事業（A-2街区））	業務、文化交流等 0.49ha	川崎市						406	1.58	-	R12完了
A-3	住宅	一般	川崎市	間接	(仮称)京急川崎駅西口地区市街地再開発組合	京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業（先行事業（A-1街区））	商業、業務等 0.74ha	川崎市						2,011	1.58	-	R16完了
A-4	住宅	一般	川崎市	間接	民間	京急川崎駅周辺25番地地区優良建築物等整備事業	文化・交流、商業、立体的遊歩道等 1.4ha	川崎市						2,438	1.93	-	R12完了
A-5	住宅	一般	川崎市	間接	民間	砂子1丁目10番地南地区 優良建築物等整備事業	商業、業務等 0.05ha	川崎市						60		-	
合計												5,315					

B 関連社会資本整備事業（該当なし）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									R8	R9	R10	R11	R12				
合計												0					

C 効果促進事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									R8	R9	R10	R11	R12		
合計															

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業（該当なし）															
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
									R8	R9	R10	R11	R12		
合計															

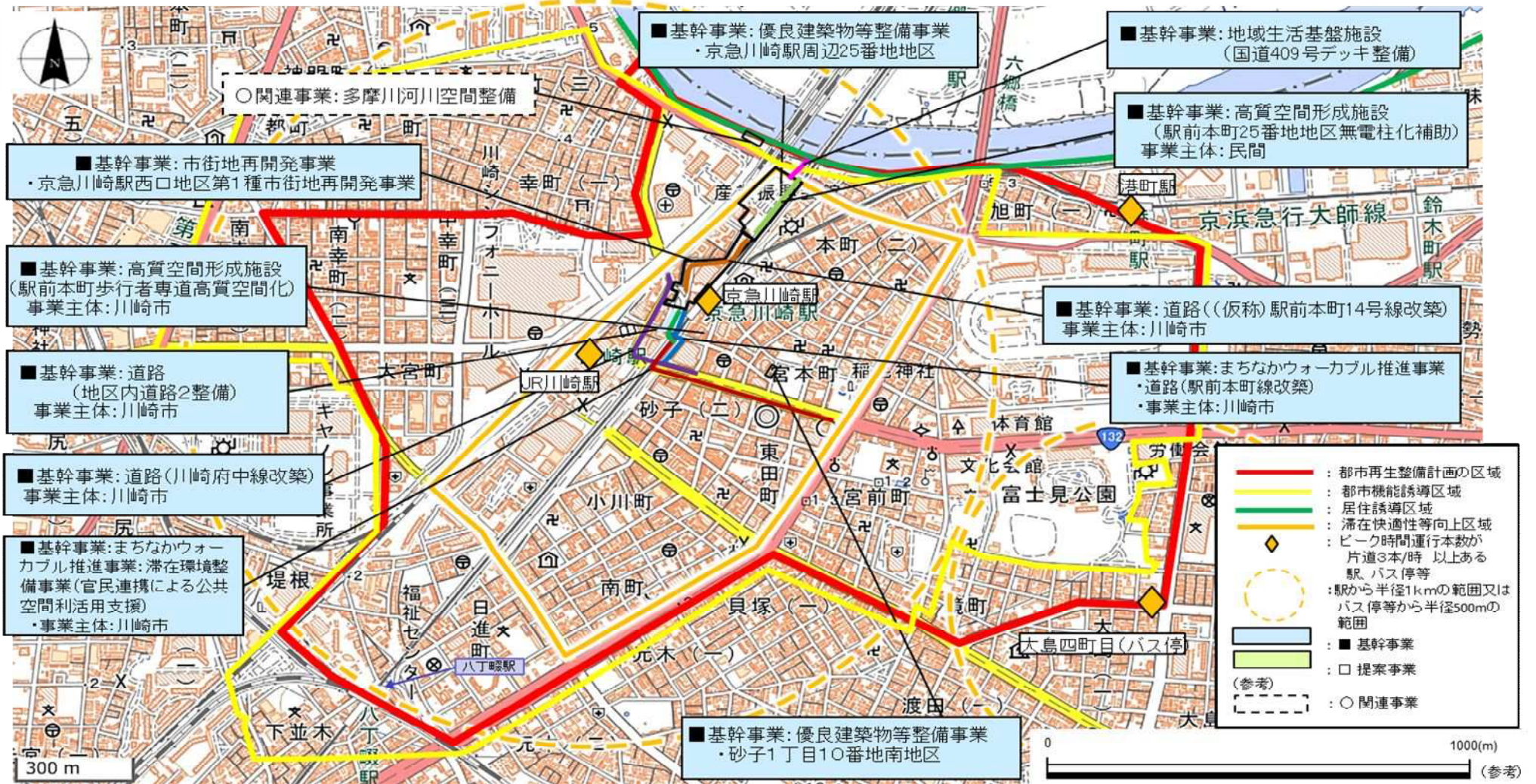
交付金の執行状況

(単位:百万円)

	R8	R9	R10	R11	R12
配分額 (a)					
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	0	0	0	0	0
前年度からの繰越額 (d)					
支払済額 (e)					
翌年度繰越額 (f)					
うち未契約繰越額 (g)					
不用額 (h = c+d-e-f)					
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	%	%	%	%	%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	-	-	-

参考図面（社会資本整備総合交付金）

計画の名称	川崎駅周辺地区市街地の活性化（第3期計画）	交付対象	川崎市
計画の期間	令和8年度～令和12年度（5年間）		



※駅から半径1kmの範囲はJR川崎駅及び京急大師線港町駅を中心に、バス停等から半径500mの範囲は大島四丁目停留所を中心に作成

# 都市再生整備計画(R8年度新規)

カワサキエキシュウヘン チ ク ダイ キ  
川崎駅周辺地区(第5期)

カナガワケン カワサキシ  
神奈川県 川崎市

令和8年2月27日

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業	□
まちなかウォークブル推進事業	■

目標及び計画期間

都道府県名	神奈川県	市町村名	川崎市	地区名	川崎駅周辺地区(第5期)	面積	267.4 ha
計画期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度	交付期間	令和 8 年度 ~ 令和 12 年度				

目標

- 大目標:本市の玄関口にふさわしい多様な魅力と活力にあふれた広域拠点の形成
- 目標1:駅周辺地区の一体化を進め、更なる成長を支える「核」の形成を進めるとともに、交通環境の適切な再編・整備を進めることにより交通結節点機能を強化する
- 目標2:安全性・快適性及びまちなみの景観の向上を図り、人と環境にやさしい居心地のよい空間づくりを推進する
- 目標3:多摩川などの自然環境や、歴史・文化・立地特性等の地域資源を活かすとともに、まちを支える「人」づくりを通じた個性的で賑わいのあるまちづくりを推進する

目標設定の根拠

まちづくりの経緯及び現況

- 川崎駅周辺地区は、東京・横浜の間、羽田空港に近接する首都圏の好立地に位置し、JR川崎駅(東海道線・京浜東北線・南武線)と、京急川崎駅(京急本線・京急大師線)に計5路線が乗り入れる、市内最大の利用客数を誇る本市の玄関口である。
- 平成15年には、JR川崎駅・京急川崎駅の両駅を中心とした地域が都市再生緊急整備地域に指定され(平成23年53haに区域拡大)、民間都市再生事業による様々な開発も進展し、駅を中心に多様な都市機能が集積するエリアとなっている。
- 平成16年から学識者、市民、商業者と協議、検討を進め、平成18年度には、目指すべきまちづくりの方向性を示す「川崎駅周辺総合整備計画」をとりまとめるとともに、同計画を概ね10年おきに見直すことで計画的なまちづくりを進めており、令和7年度には、「アーリーナシティ・プロジェクトを核とした“えき・まち・みち・かわ”が一体となった、新たなシンボルとなるまちづくりの推進」や「官民連携によるパブリックスペース活用の活性化」などの要素を踏まえ、2度目の改定を行ったところである。
- 川崎駅周辺の土地利用は、JR川崎駅を中心に大きく東口地区及び西口地区に分けられる。東口側は、駅前広場に面した大規模商業店舗や駅周辺市街地の商店街を中心とする商業機能、市役所をはじめとする公共機能、都市型サービス機能等の都市機能が集積した限界性のある地区である。西口側では、駅近から住宅市街地が展開しており、西口再開発事業等において、本市最大規模の商業施設やグローバル企業の本社オフィス、音楽ホールやライブハウスといった文化機能などが融合したまちづくりが着実に進められている。
- 一方、京急川崎駅周辺から多摩川にかけてのエリアは、都市基盤が脆弱なことから、これまで建物の機能更新や土地の高度利用化が効果的に進んでこなかった。しかし、羽田空港の国際化や沿線の開発などの影響により、京急川崎駅の乗降客数が増加し、平成30年のJR川崎駅北口通路の開業や、京急沿線の殿町地区の研究開発機関集積などの波及効果として、地区のポテンシャルが大きく高まっている。そのような中、駅間のアクセス向上や大街区化による高質なまちづくりを実現するための再開発事業、文化・交流等の多様な都市機能集積やスポーツの力によって当該地区独自の多様な都市活動と都市体験を創出するアーリーナ事業(経産省・文科省:令和5年度 多様な世代が集う交流拠点としてのスタジアム・アーリーナ認定)、空間に潤いを与える貴重な地域資源である多摩川の水辺空間の有効活用など複数のプロジェクトが同時に動き出している。
- また、道路等の公共空間の利活用によるエリア価値向上と、既存ストックのリノベーション支援を組み合わせた取り組みを進めており、令和元年から国交省の「ウォーカーブル推進都市」に参画している。都市再生整備計画事業等で整備されたオープンスペースにおけるイベント主催者公募制度などを運用する中で、民間活力による様々なアクティビティが活性化しつつあり、令和5年度には、上下線6車線の市役所通りを用いて、多様な主体が参画しながら作り上げる「みんなの川崎祭」がスタートするなど、「まちづくりの担い手」としての市民・企業の協働の取組の重要性が大きくなっている。

課題

- 京急川崎駅周辺はJRと京急本線の高架に囲まれ、周辺地域とのつながりが希薄かつ、土地の高度利用が図られていない。本市広域拠点にふさわしい、人やモノが交流し、国内外の来街者による創造的な賑わいによる、持続的で活気にあふれたまちづくりを進めるために、周辺地区との連携を高めながら、地区のイメージを刷新することが求められている。
- 京急川崎駅から多摩川への歩行者動線がわかりづらく、多摩川方面へのアクセスに必要な地域軸が明確になっていない。川崎アーリーナシティ・プロジェクトの推進にあたっては、エリア内の道路等の整理を行い、京急川崎駅と多摩川をつなぐ自動車・歩行者動線を確立することで、地域軸の強化及びそれによる回遊性の向上を図る必要がある。
- 京急川崎駅前は老朽建築物や低未利用地が多く残っている上に、十分な滞留空間が確保できていない。朝夕のラッシュ時において駅前に人が滞留し、車道まで人があふれる状況であり、居心地のよい空間づくり、安全安心なまちづくりの観点から、早期の環境改善が必要とされている。
- 川崎駅周辺はあらゆる交通手段が集中し、交通混雑地区となっていることから、バス利便性や歩行空間の安全性、幹線道路の円滑な交通流動の改善が課題となっている。これらの解決のため、交通手段毎の適切なゾーニングを推進し、限られた空間の最適活用を図ることで、車中心の空間から人中心の空間にシフトさせていく必要がある。
- 公共空間におけるオープンスペース等の利活用や、まちなかで行われるイベント等で生み出されたにぎわいを面的に広げ、まちの魅力に変えていくためには、歩行者中心の空間をまちなかに増やしていくハード整備と、官民連携の一元的なまちづくりを支える「まちづくりの担い手」が組織化され、継続的な活動に展開していくためのソフト施策を両輪で取り組んでいくことが重要である。
- 京急川崎駅周辺の市街地開発により就業者・来街者が大きく増えることが予想されるが、それを国際競争力の強化やまちの活力向上に繋げるためには、「就業者や滞在者の精神的疲労回復や生産性向上等に影響を与える、水・緑等の自然要素の活用」、「川崎に根付くアートやスポーツなどの文化を育成し、人と同士の交流のきっかけに転換させる仕掛け」、「魅力あるサービスや生活利便性・快適性を高める機能」など、必要な都市アメニティを徒歩圏内に混在させていく事が求められている。

将来ビジョン(中長期)

- 京急川崎駅周辺はJRと京急本線の高架に囲まれ、周辺地域とのつながりが希薄かつ、土地の高度利用が図られていない。本市広域拠点にふさわしい、人やモノが交流し、国内外の来街者による創造的な賑わいによる、持続的で活気にあふれたまちづくりを進めるために、周辺地区との連携を高めながら、地区のイメージを刷新することが求められている。
- 京急川崎駅から多摩川への歩行者動線がわかりづらく、多摩川方面へのアクセスに必要な地域軸が明確になっていない。川崎アーリーナシティ・プロジェクトの推進にあたっては、エリア内の道路等の整理を行い、京急川崎駅と多摩川をつなぐ自動車・歩行者動線を確立することで、地域軸の強化及びそれによる回遊性の向上を図る必要がある。
- 京急川崎駅前は老朽建築物や低未利用地が多く残っている上に、十分な滞留空間が確保できていない。朝夕のラッシュ時において駅前に人が滞留し、車道まで人があふれる状況であり、居心地のよい空間づくり、安全安心なまちづくりの観点から、早期の環境改善が必要とされている。
- 川崎駅周辺はあらゆる交通手段が集中し、交通混雑地区となっていることから、バス利便性や歩行空間の安全性、幹線道路の円滑な交通流動の改善が課題となっている。これらの解決のため、交通手段毎の適切なゾーニングを推進し、限られた空間の最適活用を図ることで、車中心の空間から人中心の空間にシフトさせていく必要がある。
- 公共空間におけるオープンスペース等の利活用や、まちなかで行われるイベント等で生み出されたにぎわいを面的に広げ、まちの魅力に変えていくためには、歩行者中心の空間をまちなかに増やしていくハード整備と、官民連携の一元的なまちづくりを支える「まちづくりの担い手」が組織化され、継続的な活動に展開していくためのソフト施策を両輪で取り組んでいくことが重要である。
- 京急川崎駅周辺の市街地開発により就業者・来街者が大きく増えることが予想されるが、それを国際競争力の強化やまちの活力向上に繋げるためには、「就業者や滞在者の精神的疲労回復や生産性向上等に影響を与える、水・緑等の自然要素の活用」、「川崎に根付くアートやスポーツなどの文化を育成し、人と同士の交流のきっかけに転換させる仕掛け」、「魅力あるサービスや生活利便性・快適性を高める機能」など、必要な都市アメニティを徒歩圏内に混在させていく事が求められている。

目標を定量化する指標

指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	目標値	
					基準年度	目標年度
京急川崎駅周辺の歩行者通行量	人/日	京急駅前から多摩川に向かう歩行者通行量の増加(休日7:00～19:00)	道路空間の再編と河川オープン化により、多摩川周辺に訪れる人が増え、歩行者通行量が増加する。	2,506人/日	R7	R12
滞留空間に対する市民満足度の向上	%	京急駅前の滞留空間についての市民満足度の向上	歩行者専用道路化・利活用支援を行うことによる、居心地が良く歩きたくなる空間づくりにより、市民満足度が向上する。	-	R7	R12
都市空間のイメージの向上	%	「川崎は新しい技術や文化が生まれる場所だと思ふ」と感じる人の割合	都市機能の集積と公共空間におけるアクティビティの活性化により、都市イメージが向上する。	25.6%	R7	R12

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>整備方針1(広域的拠点形成と地域連携のまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・移動や乗り換えにおける利便性や円滑化等、快適な移動空間の確保による交通結節機能の強化や、公共交通の利便性向上による広域的な拠点形成を図る。</li> <li>・JR川崎駅と京急川崎駅の連携を強化し、交通結節点としての利便性を高める。</li> <li>・京急川崎駅周辺地区については、羽田空港アクセス等の優れた立地と特性を活かし、民間活力による国際化に対応した都市機能の再編整備の適切な誘導・支援を行い、新たな玄関口として魅力あるまちづくりを推進する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路(駅前本町線改築)</li> <li>○道路(県道主要地方道川崎府中改築)</li> <li>○道路(地区内道路2改築)</li> <li>○道路((仮称)駅前本町14号線改築)</li> <li>○地域生活基盤施設(国道409号デッキ整備)</li> <li>○高質空間形成施設(駅前本町線歩道高質空間化)</li> <li>○高質空間形成施設(駅前本町25番地地区無電柱化補助)</li> <li>○滞在環境整備事業(官民連携による公共空間の利活用促進)</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業活用調査(都市再生整備計画事業効果検証調査)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○優良建築物等整備事業(京急川崎駅周辺25番地地区)</li> <li>○優良建築物等整備事業(砂子1丁目10番地南地区)</li> <li>○京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業</li> </ul>
<p>整備方針2(人と環境にやさしいまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者をはじめとした移動に制約のある人々も、安心して移動できる環境を整備する。</li> <li>・道路交通の円滑化や自家用車から公共交通利用への転換を通じ、環境にやさしいまちづくりを推進する。</li> <li>・イベント等も行える居心地の良い公共空間を整備する。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路(駅前本町線改築)</li> <li>○道路(県道主要地方道川崎府中改築)</li> <li>○道路(地区内道路2改築)</li> <li>○道路((仮称)駅前本町14号線改築)</li> <li>○地域生活基盤施設(国道409号デッキ整備)</li> <li>○高質空間形成施設(駅前本町線歩道高質空間化)</li> <li>○高質空間形成施設(駅前本町25番地地区無電柱化補助)</li> <li>○滞在環境整備事業(官民連携による公共空間の利活用促進)</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○事業活用調査(都市再生整備計画事業効果検証調査)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○優良建築物等整備事業(京急川崎駅周辺25番地地区)</li> <li>○優良建築物等整備事業(砂子1丁目10番地南地区)</li> <li>○京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業</li> <li>○多摩川河川空間整備</li> </ul>
<p>整備方針3(個性的で賑わいのあるまちづくり)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・川崎駅周辺地区の回遊性、拠点性の向上を図るため、川崎駅周辺の多様な事業主体の連携を強化するとともに、公共空間を活用したイベントの実施等を通じ、事業者や地域住民が主体となってまちの活性化を図り、賑わいのあるまちづくりを推進する。</li> <li>・川崎駅周辺地区における地域資源を活用したまちづくりの推進を図る。</li> </ul>	<p>【基幹事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○道路(駅前本町線改築)</li> <li>○道路(県道主要地方道川崎府中改築)</li> <li>○道路(地区内道路2改築)</li> <li>○道路((仮称)駅前本町14号線改築)</li> <li>○地域生活基盤施設(国道409号デッキ整備)</li> <li>○高質空間形成施設(駅前本町線歩道高質空間化)</li> <li>○高質空間形成施設(駅前本町25番地地区無電柱化補助)</li> <li>○滞在環境整備事業(官民連携による公共空間の利活用促進)</li> </ul> <p>【提案事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域創造支援事業(既存ストック活用事業費補助)</li> <li>○地域創造支援事業(公共空間利活用支援)</li> <li>○地域創造支援事業(まちなかアート推進補助)</li> <li>○事業活用調査(都市再生整備計画事業効果検証調査)</li> </ul> <p>【関連事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○優良建築物等整備事業(京急川崎駅周辺25番地地区)</li> <li>○優良建築物等整備事業(砂子1丁目10番地南地区)</li> <li>○京急川崎駅西口地区第一種市街地再開発事業</li> <li>○多摩川河川空間整備</li> </ul>
<p>その他</p>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	5,822	交付限度額	2,911.0	国費率	0.5
---------	-------	-------	---------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		県道主要地方道川崎府中改築	川崎市	直		R8	R8	R8	R8	202	202	202		202	
	道路		地区内道路2改築	川崎市	直		R8	R8	R8	R8	27	27	27		27	
	道路		(仮称)駅前本町14号線改築	川崎市	直		R8	R12	R8	R11	5,463	4,920	4,920		4,920	
	公園															
	河川															
	下水道															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設	人工地盤	国道409号デッキ整備	川崎市	直		R9	R12	R9	R12	520	520	520		520	
	高質空間形成施設		駅前本町線歩道高質空間化	川崎市	直		R8	R8	R8	R8	50	48	48		48	
	高質空間形成施設		駅前本町25番地区無電柱化補助	民間	間		R8	R8	R8	R8	55	55	55		55	
	高次都市施設	地域交流センター														
		観光交流センター														
		テレワーク拠点施設														
		賑わい・交流創出施設														
		子育て世代活動支援センター														
		複合交通センター														
	誘導施設	医療施設														
		社会福祉施設														
		教育文化施設														
		子育て支援施設														
		元地の管理の適正化														
	基幹的誘導施設															
	既存建造物活用事業	高次都市施設														
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	住宅街区整備事業															
	バリアフリー環境整備事業															
	優良建築物等整備事業															
	住宅市街地総合整備事業															
	街なみ環境整備事業															
	住宅地区改良事業等															
	都心共同住宅供給事業															
	公営住宅等整備															
	都市再生住宅等整備															
	防災街区整備事業															
	復興促進事業															
	エリア価値向上整備事業															
	こどもまんなかまちづくり事業															
	合計										6,317	5,772	5,772	0	5,772	…A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	地域創造	既存ストック活用事業費補助	-	川崎市	直	-	R8	R12	R8	R12	30	30	30		30	
	支援事業	公共空間利活用支援	-	川崎市	直	-	R8	R12	R8	R12	5	5	5		5	
		まちなかアート推進補助	-	川崎市	直	-	R8	R12	R8	R12	5	5	5		5	
	事業活用	都市再生整備計画事業効果検証調査	-	川崎市	直	-	R12	R12	R12	R12	10	10	10		10	
	まちづくり活動推進															
	事業															
	合計										50	50	50	0	50	…B



目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(まちなかウォーカーブル推進事業)

様式(1)-④-3

交付対象事業費	400	交付限度額	200.0	国費率	0.5
---------	-----	-------	-------	-----	-----

(金額の単位は百万円)

基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	道路		駅前本町線改築	川崎市	直		R8	R8	R8	R8	250	250	250		250	
	道路															
	駐車場有効利用システム															
	地域生活基盤施設	人工地盤等														
	高質空間形成施設															
	既存建造物活用事業															
	土地区画整理事業															
	市街地再開発事業															
	バリアフリー環境整備促進事業															
	街なみ環境整備事業															
	潜在環境整備事業		官民連携による公共空間の利活用促進	川崎市	直		R8	R12	R8	R12	150	150	150		150	
	合計										400	400	400	0	400	

…A

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分	うち民負担分	交付対象事業費	
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度						
	地域創造支援事業															
	事業活用調査															
	まちづくり活動推進事業															
	合計										0	0	0	0	0	0

…B

(参考)関連事業	事業	事業箇所名	事業主体	所管省庁名	規模	(いずれかに○)				事業期間		全体事業費
						直轄	補助	地方単独	民間単独	開始年度	終了年度	
	市街地再開発事業	川崎市川崎区駅前本町16番地	民間事業者		約0.49ha		○			R5	R12	406
	市街地再開発事業	川崎市川崎区駅前本町16番地	民間事業者		約0.74ha		○			R5	R16	2,011
	優良建築物等整備事業	川崎市川崎区駅前本町25番	民間事業者		約1.4ha		○			R5	R12	2,438
	優良建築物等整備事業	川崎市川崎区砂子1丁目	民間事業者		約0.05ha		○			R6	R10	60
	多摩川河川空間整備	多摩川河川空間	川崎市		-			○		R11	R12	200
	合計											5,115

合計(A+B) 400



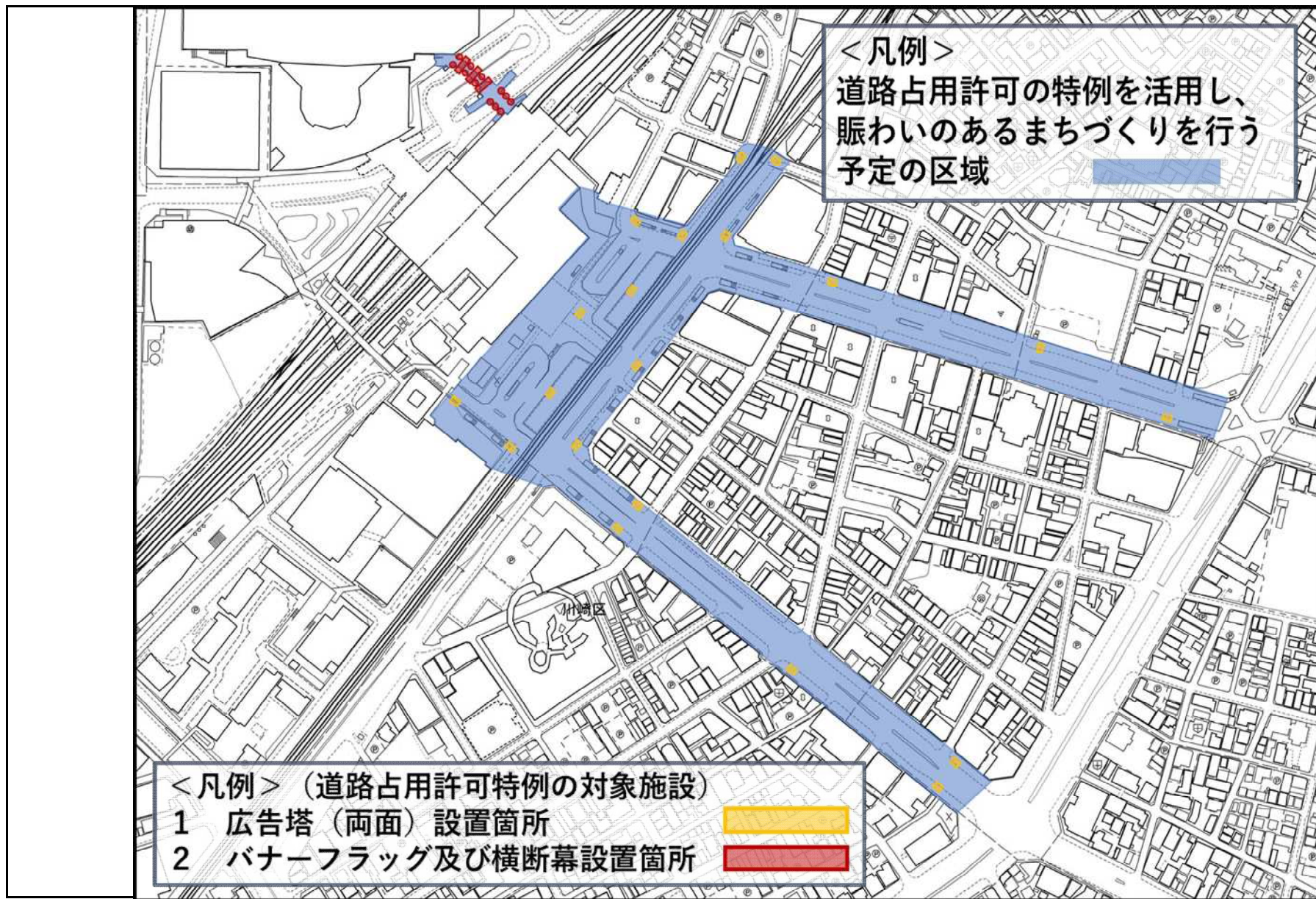
制度別詳細1(道路占用に関する事項) 都市再生特別措置法46条10項

制度の活用計画			
占用対象施設	占用の場所	道路交通環境の維持 及び向上を図るための措置	
道路 占用 許可 特別 対象 施設	1 広告塔	川崎駅周辺(川崎区駅前本町26-1ほか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・広告塔周辺及び川崎駅東口駅前広場、市役所通り、新川通りの清掃</li> <li>・広告塔の適正な維持管理により良好な景観を保つ</li> <li>・広告塔周辺の異常発見時の報告</li> </ul>
	2 横断幕及びバナーフラッグ	1号川崎駅北口自由通路線(川崎駅北口通路西側デッキ) (幸区堀川町地内)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・横断幕及びバナーフラッグの適正な維持管理により良好な景観を保つ</li> <li>・横断幕及びバナーフラッグ周辺の異常発見時の報告</li> </ul>
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

# 制度別詳細1-1(道路占用に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図



# 制度別詳細1-1-1(道路占用に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図

### 1. 広告塔

【イメージ写真】  
広告塔



道路占用許可の特例を活用する予定の区域  
広告塔（両面）設置箇所



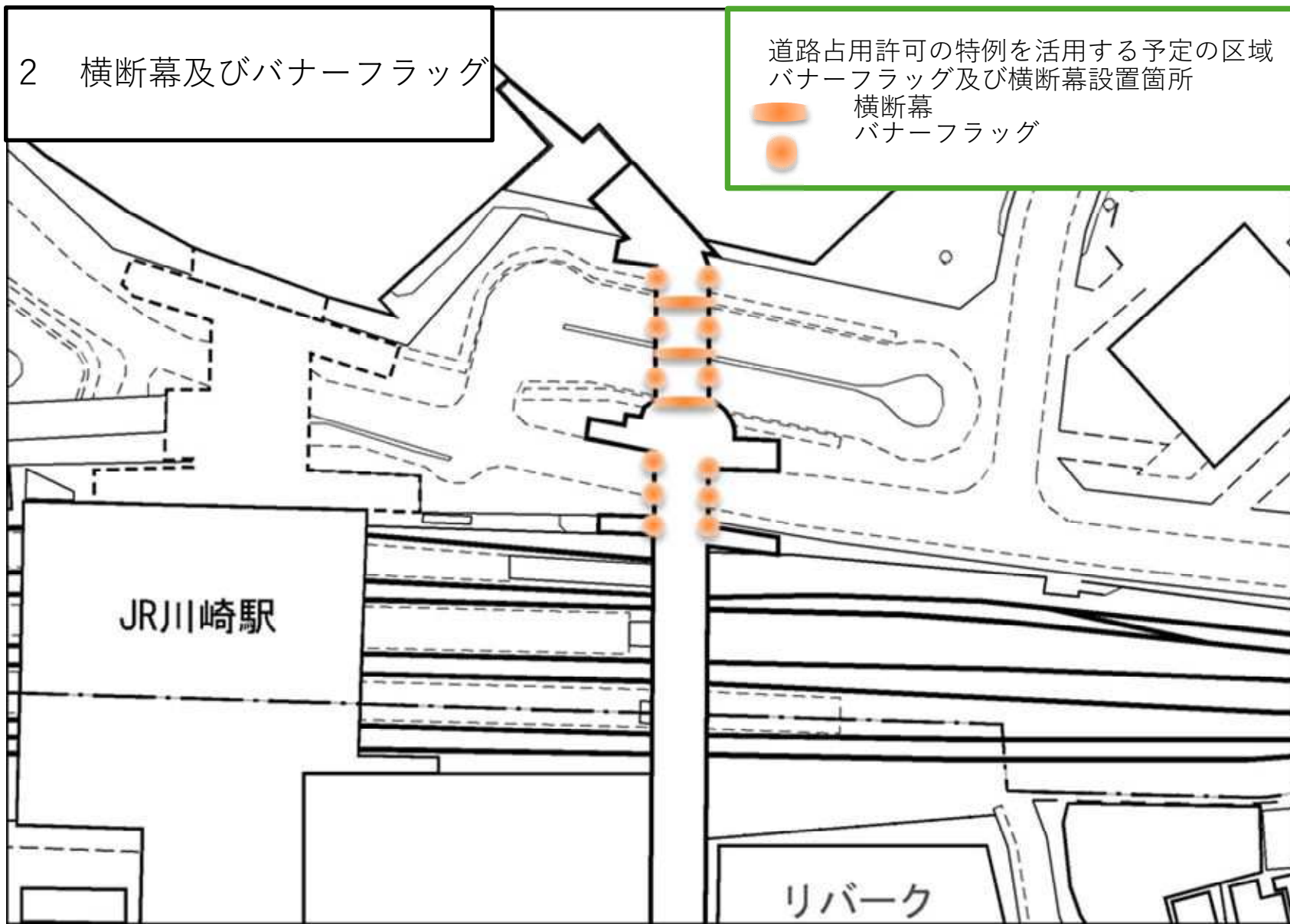
# 制度別詳細1-1-2(道路占用に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例】

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図

### 2 横断幕及びバナーフラッグ

道路占用許可の特例を活用する予定の区域  
バナーフラッグ及び横断幕設置箇所  
横断幕  
バナーフラッグ



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

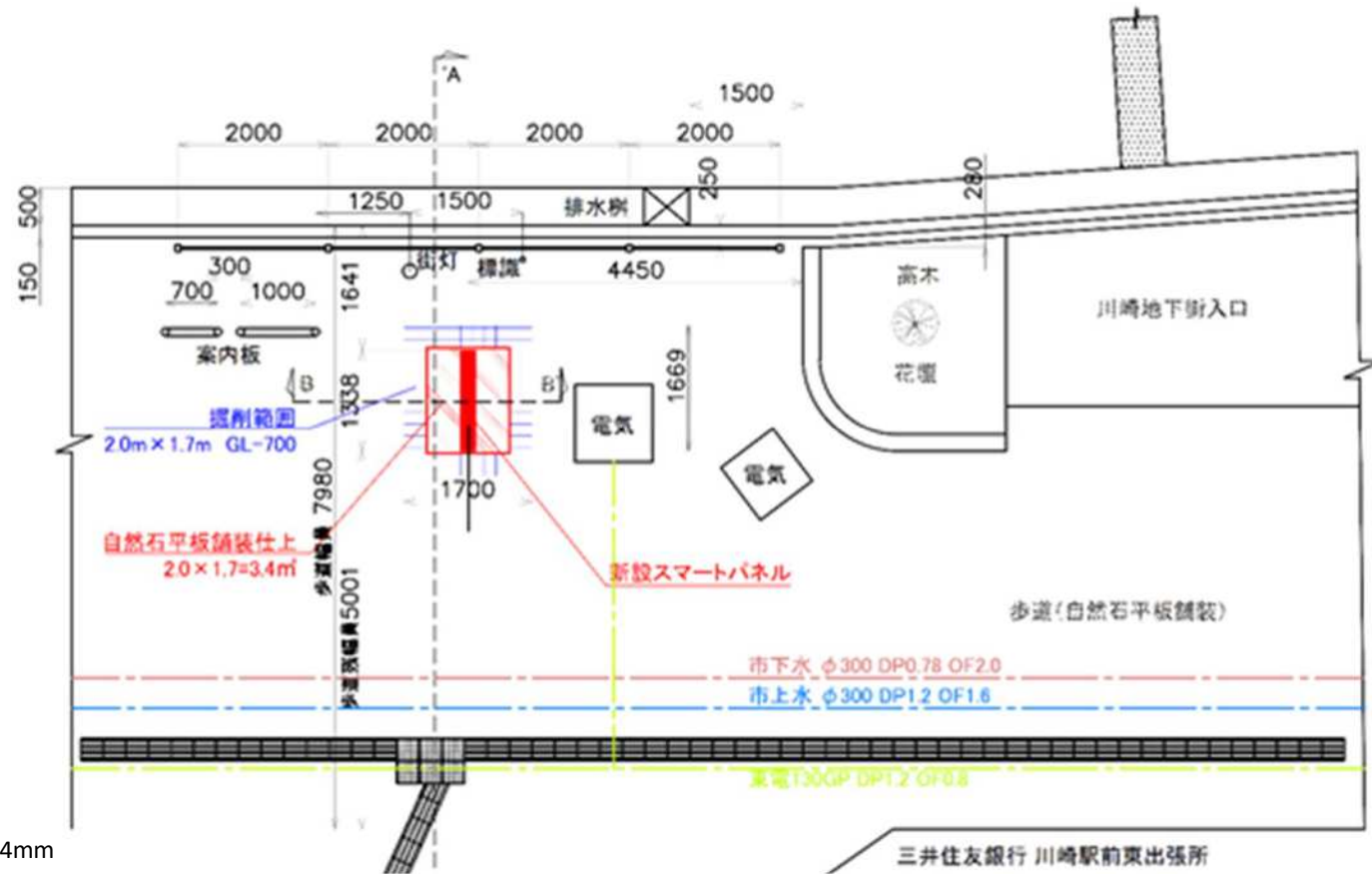
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔①

【イメージ写真】  
広告塔①



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

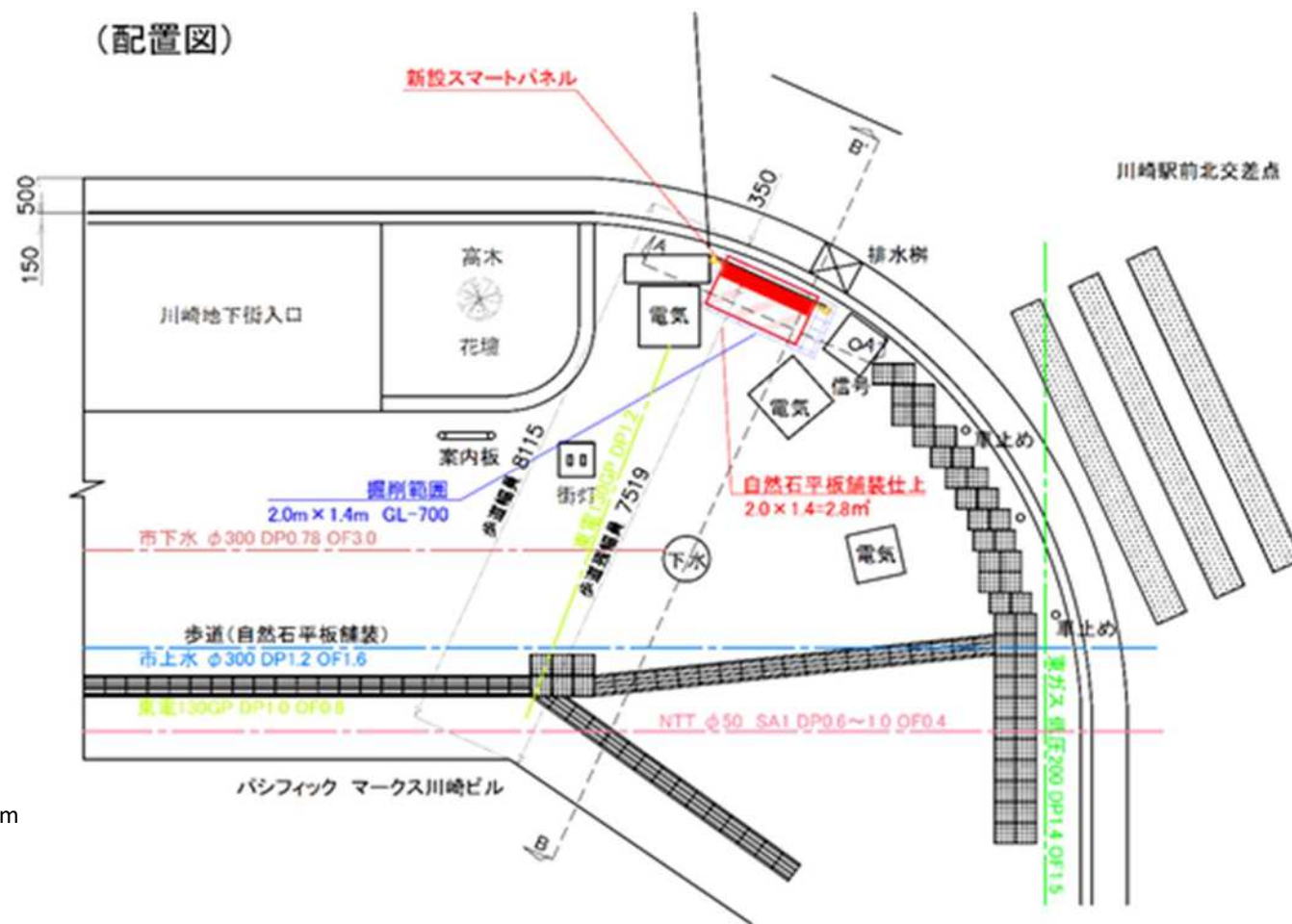
### 1 広告塔②

【イメージ写真】  
広告塔②



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm

### (配置図)



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ



### 1 広告塔③

【イメージ写真】  
広告塔③



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm



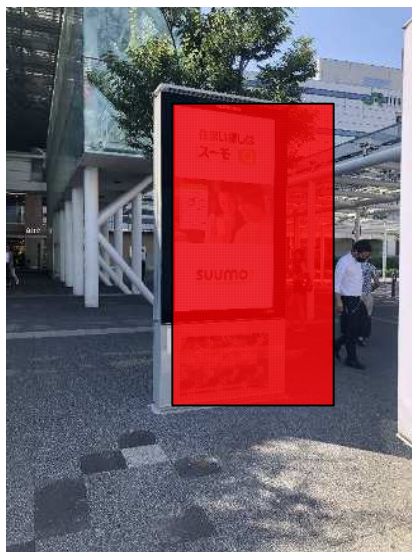
# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

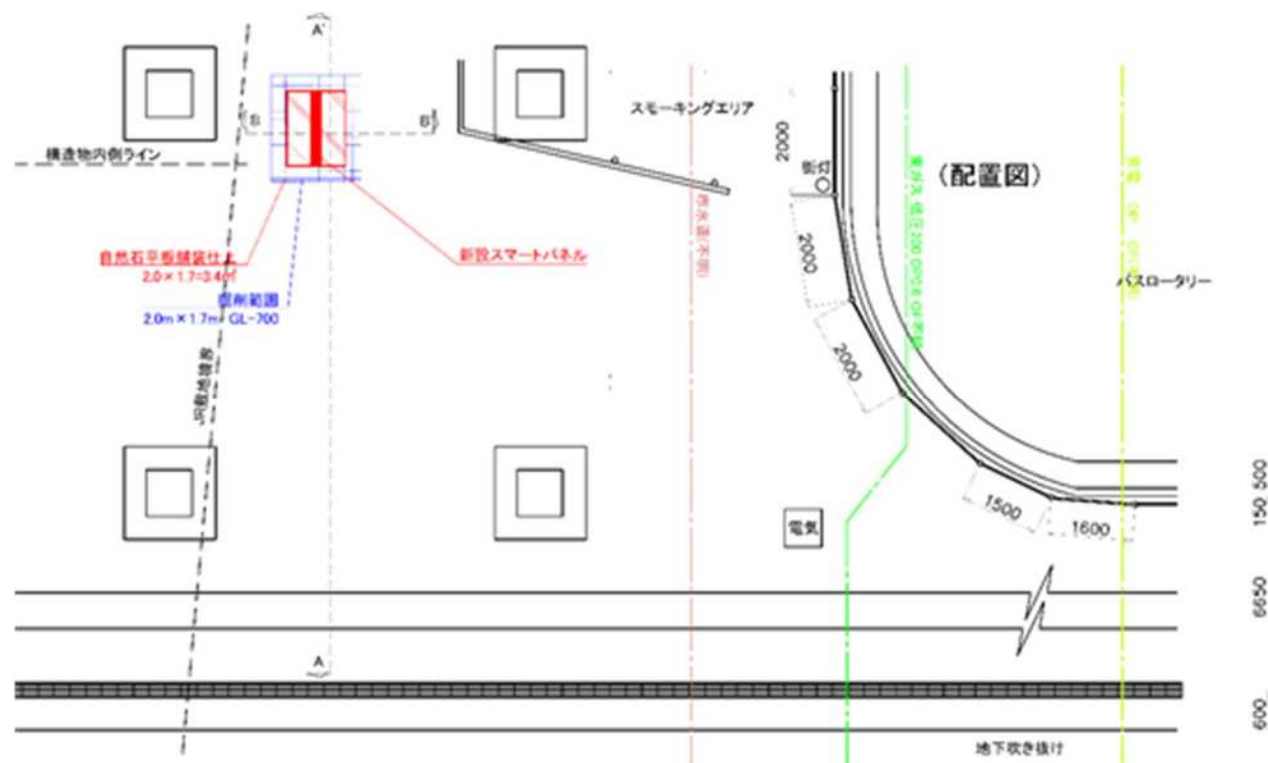
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔④

【イメージ写真】  
広告塔④



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑤

【イメージ写真】  
広告塔⑤



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm

### (配置図)





# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

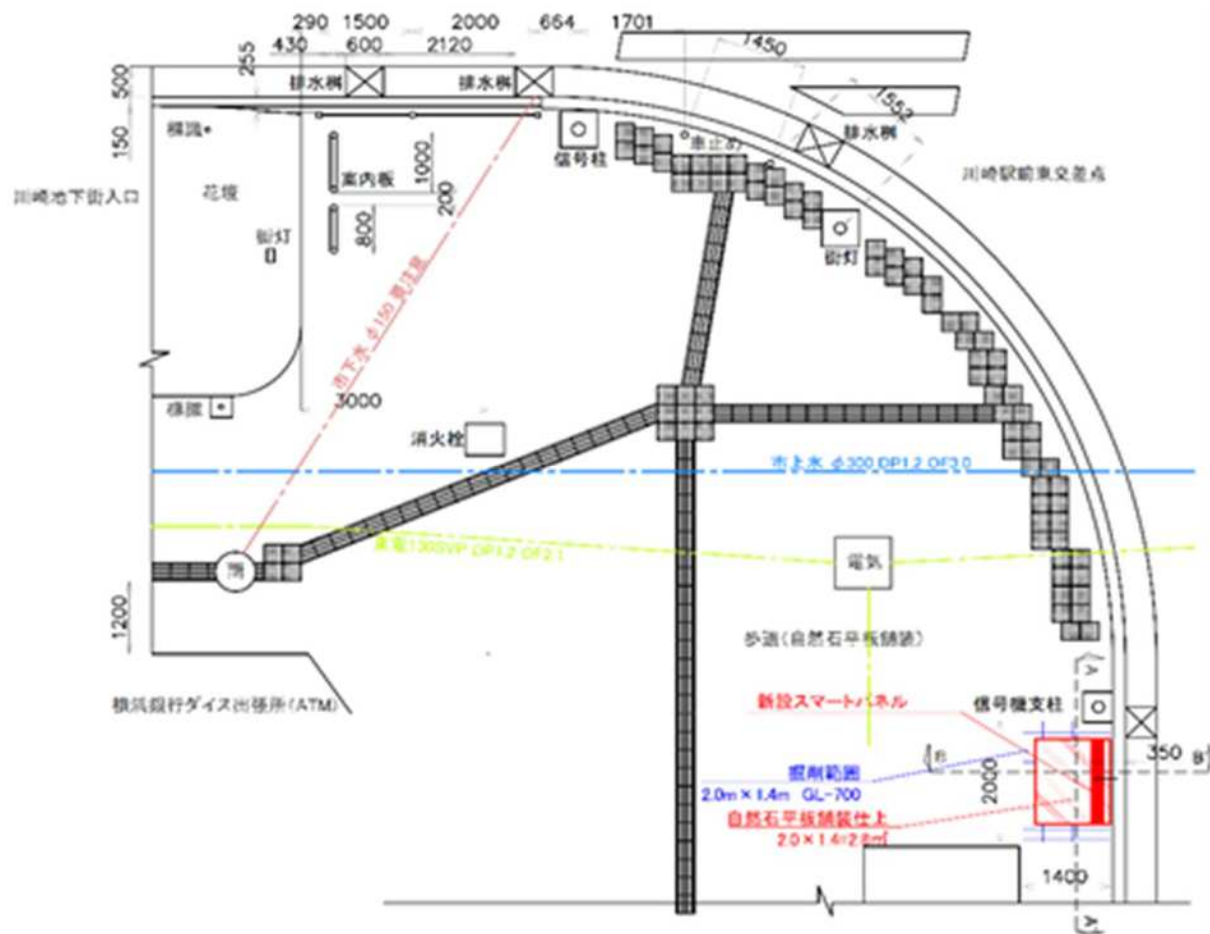


### 1 広告塔⑦

【イメージ写真】  
広告塔⑦



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm





# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

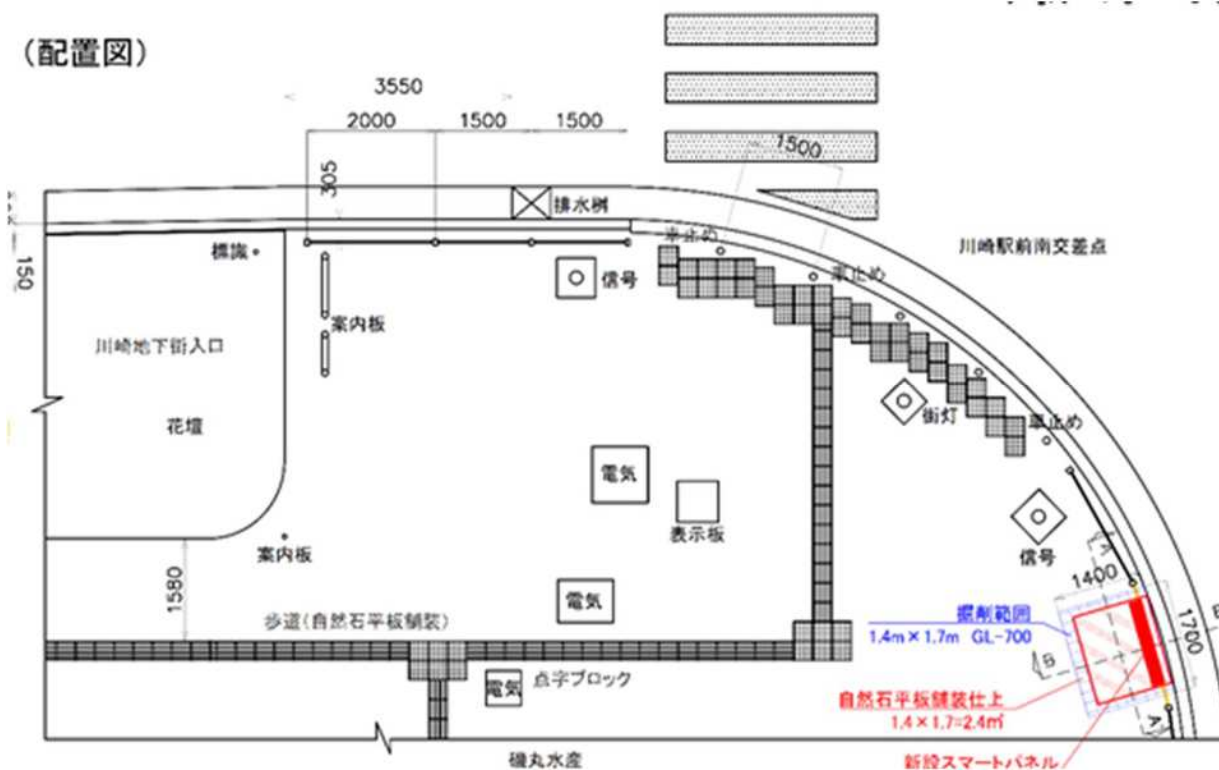
### 1 広告塔⑨

【イメージ写真】  
広告塔⑨



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm

(配置図)



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

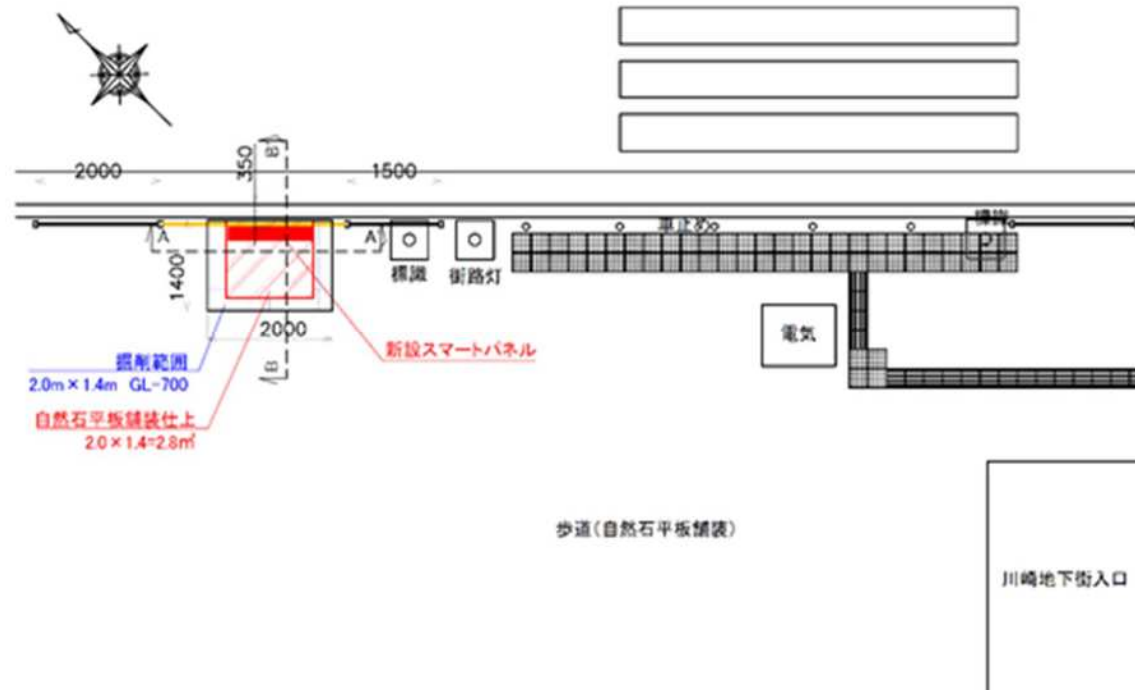
### 1 広告塔⑩

【イメージ写真】

広告塔⑩



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm



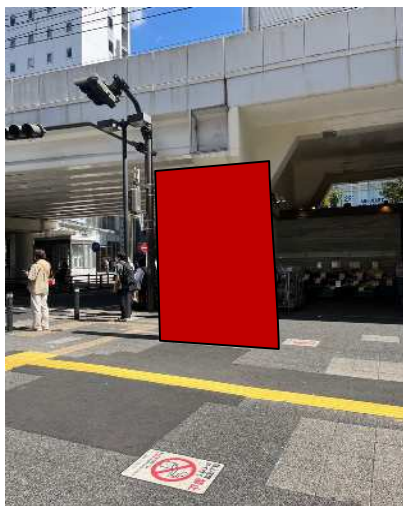
# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔①

【イメージ写真】  
広告塔①



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=254mm



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

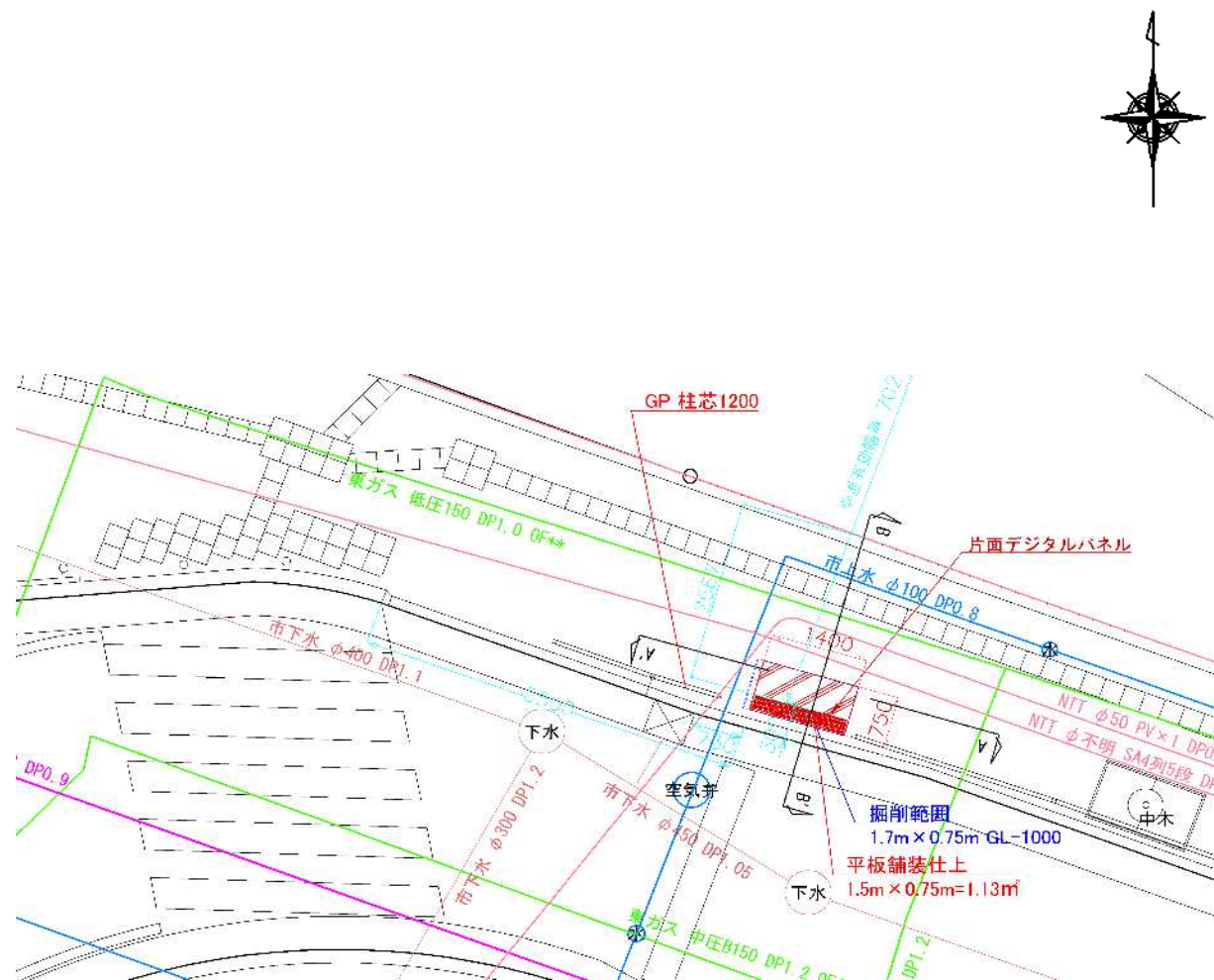
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑫

【イメージ写真】  
広告塔⑫



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=246mm



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

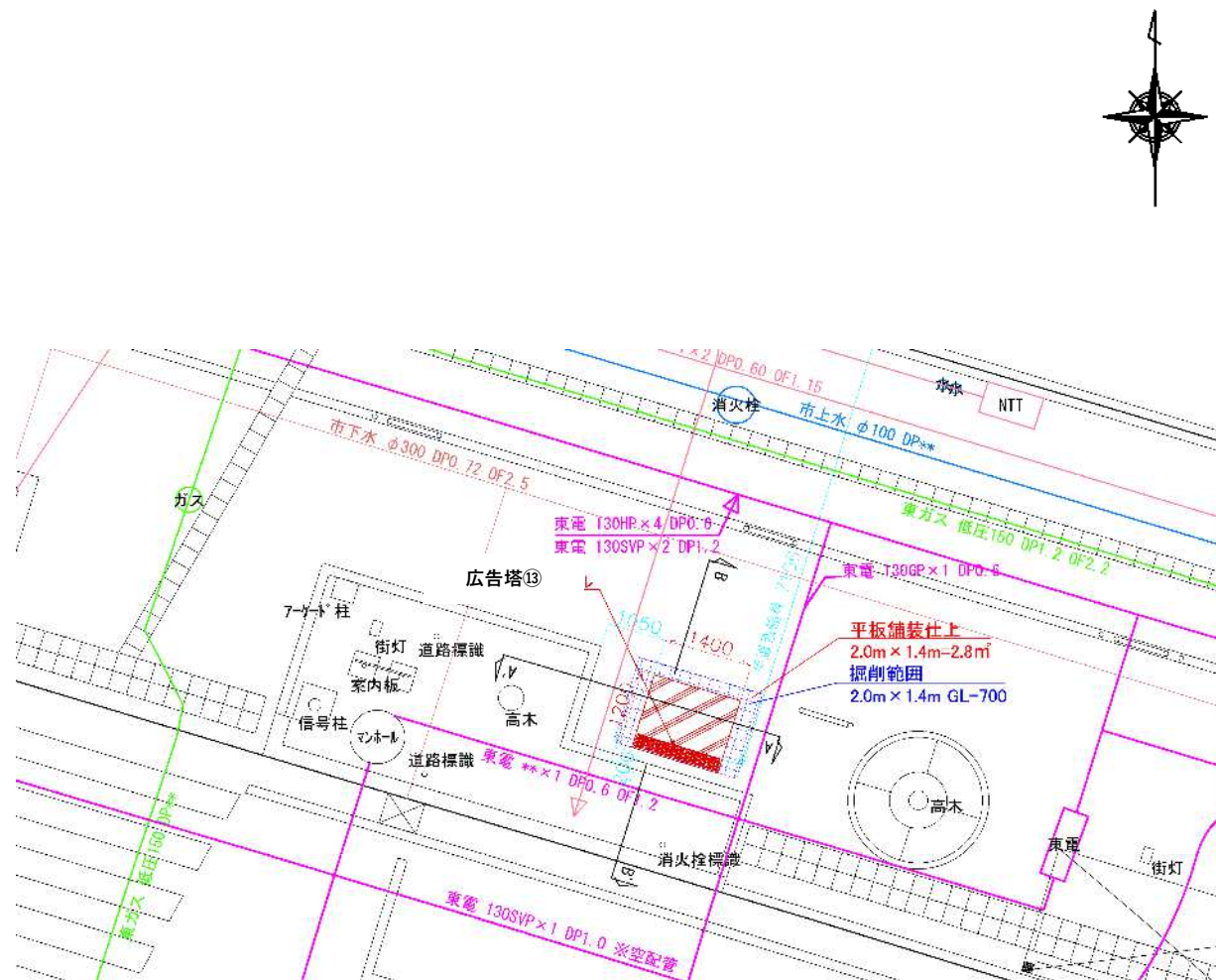
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑬

【イメージ写真】  
広告塔⑬



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=246mm



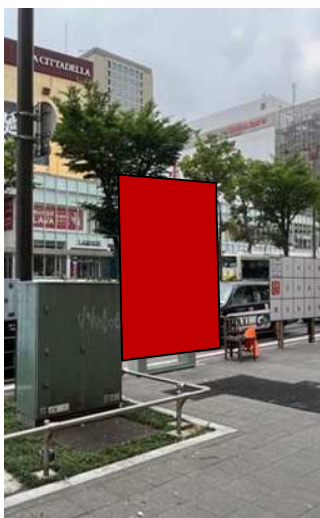
# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑭

【イメージ写真】  
広告塔⑭



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=246mm



# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑮

【イメージ写真】  
広告塔⑮



広告塔 W=1,338mm H=2,688mm D=205mm



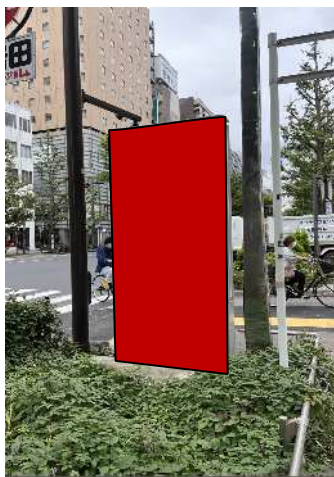
# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

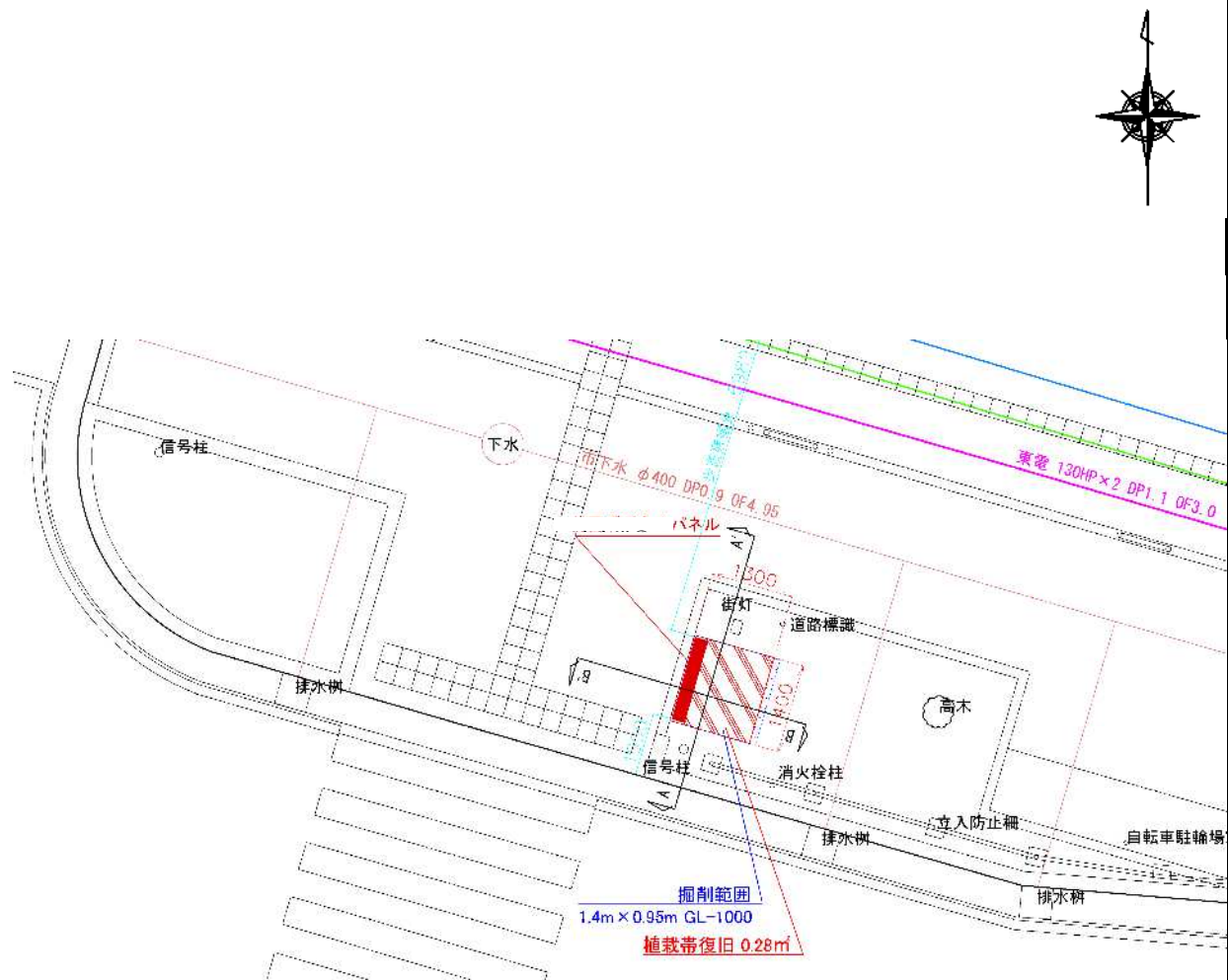
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑬

【イメージ写真】  
広告塔⑬



広告塔 W=1,338mm H=2,970mm D=246mm





# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑬

【イメージ写真】  
広告塔⑬



広告塔 W=1,338mm H=2,688mm D=205mm



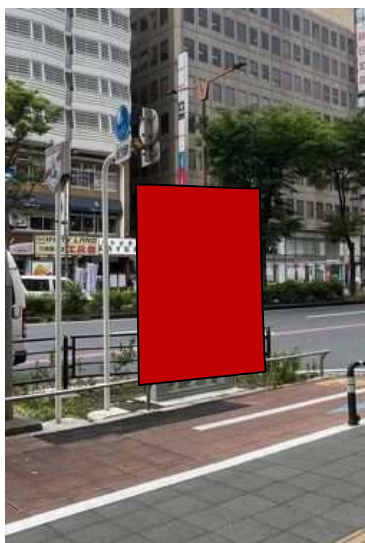
# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

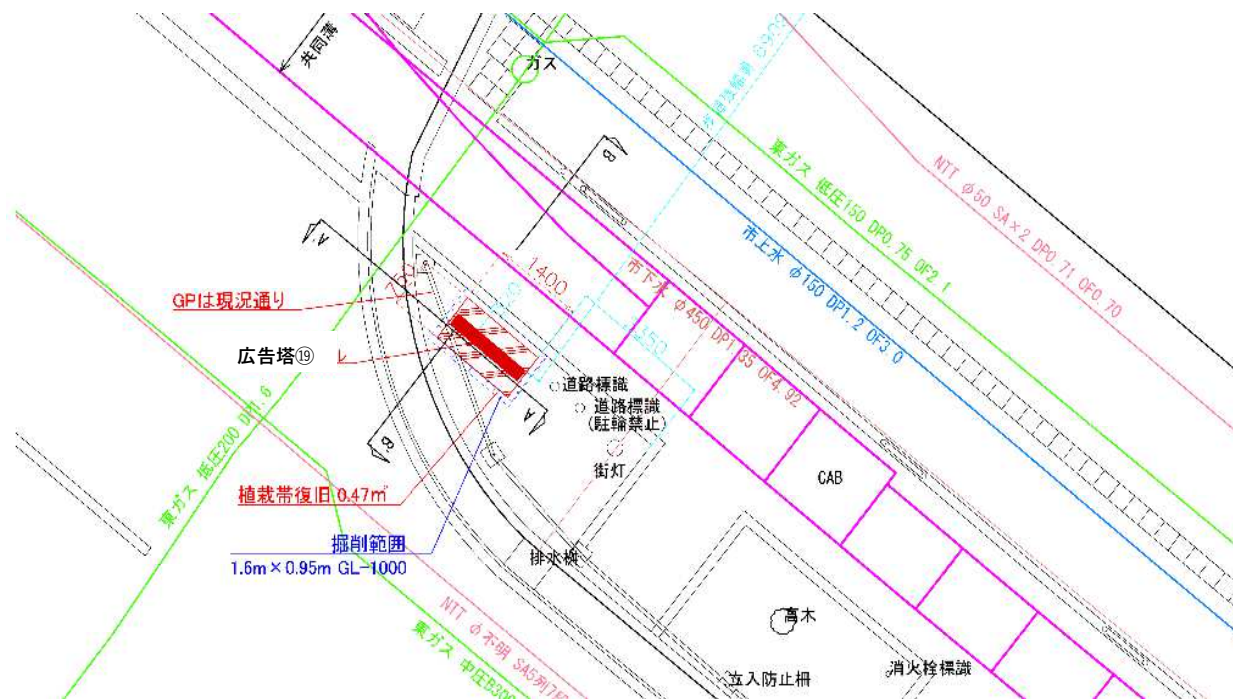
制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 1 広告塔⑱

【イメージ写真】  
広告塔⑱



広告塔 W=1,338mm H=2,688mm D=205mm



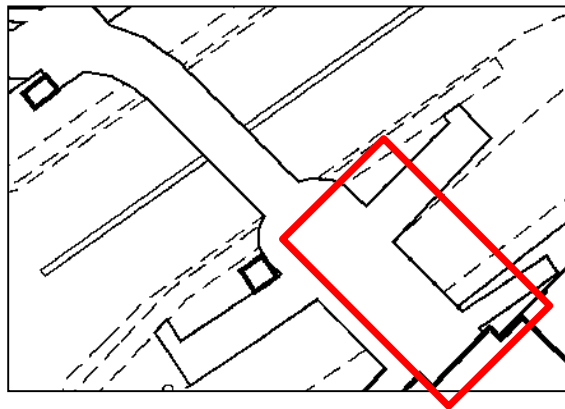


# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

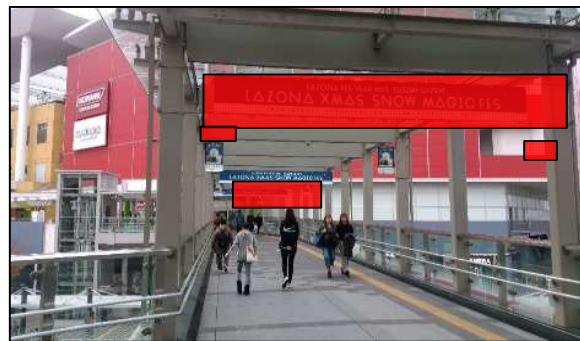
## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

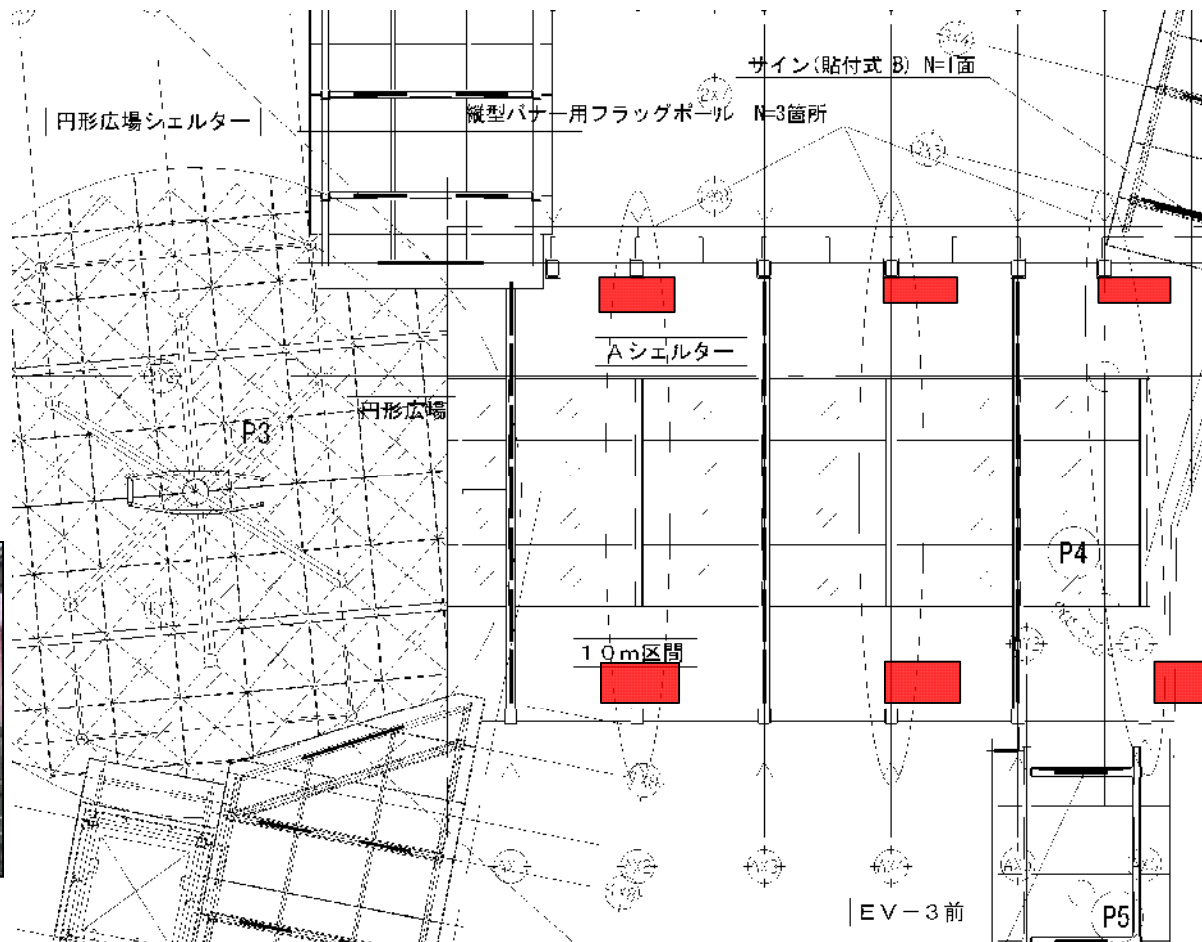
### 2 横断幕及びバナーフラッグ



【イメージ写真】  
横断幕及びバナーフラッグ



- ・横断幕 W=5,000mm H=500mm
- ・バナーフラッグ W=450mm H=750mm

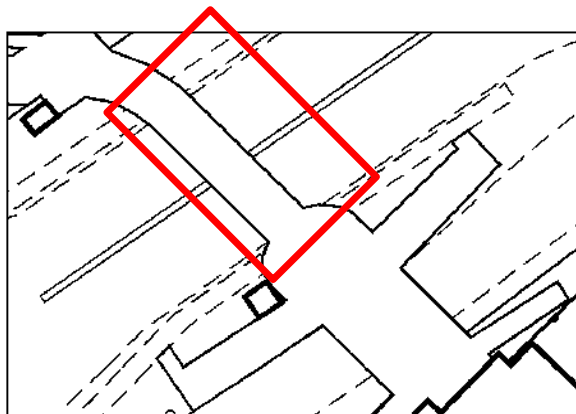


# 制度別詳細1-2-1(道路占用許可に関する事項)

## 制度別詳細【道路占用許可基準の特例: 広告塔】

制度を活用して整備・設置する施設等のイメージ

### 2 横断幕及びバナーフラッグ

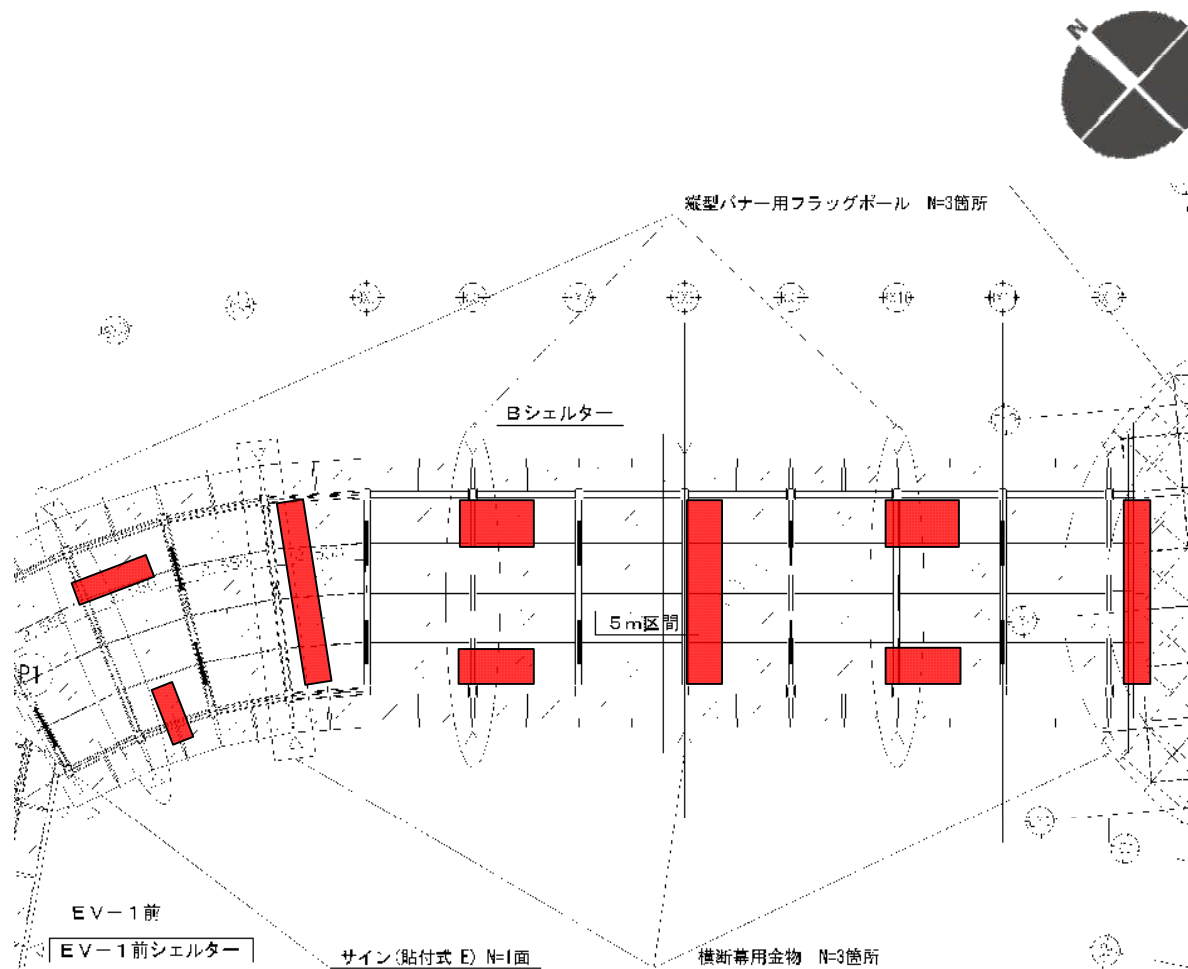


【イメージ写真】  
横断幕及びバナーフラッグ



・横断幕 W=5,000mm H=500mm

・バナーフラッグ W=450mm H=750mm



制度別詳細2(河川敷地占用に関する事項) 河川敷地占用許可準則22

制度の活用計画			
占用対象施設		占用の場所	道路交通環境の維持 及び向上を図るための措置
河川敷 占用許可 特例対象 施設	1	飲食施設等(常設オープンカフェ、テーブル、椅子、自転車駐車場、看板又は広告塔等) 河川名:多摩川 多摩川見晴らし公園及び隣接船着き場 (川崎市幸区幸町2丁目)	・施設周辺や河川敷の清掃を実施する ・イベント等を通して、河川環境の維持向上を図るための注意啓発等を行う
	2		
	3		
	4		
	5		
	6		
	7		

# 制度別詳細2-1(河川敷地占用に関する事項)河川敷地占用許可準則22

事業番号3

## 制度別詳細【河川敷地占用許可準則】

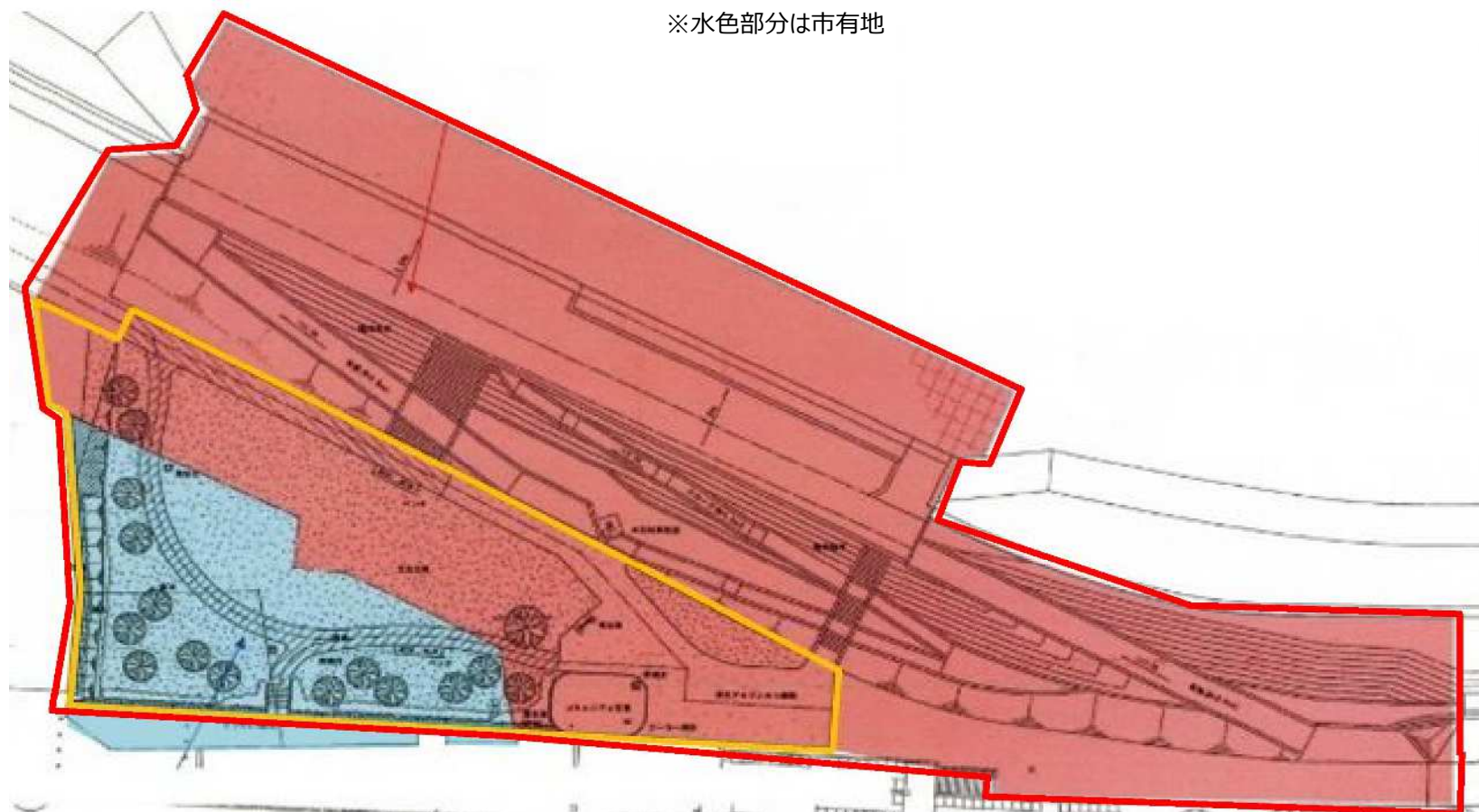
制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図

 飲食施設等配置エリア

 多摩川見晴らし公園

※現在の見晴らし公園の位置であり、今後、船着き場を含む「飲食施設等配置エリア」の範囲を都市公園に位置付ける予定

※水色部分は市有地



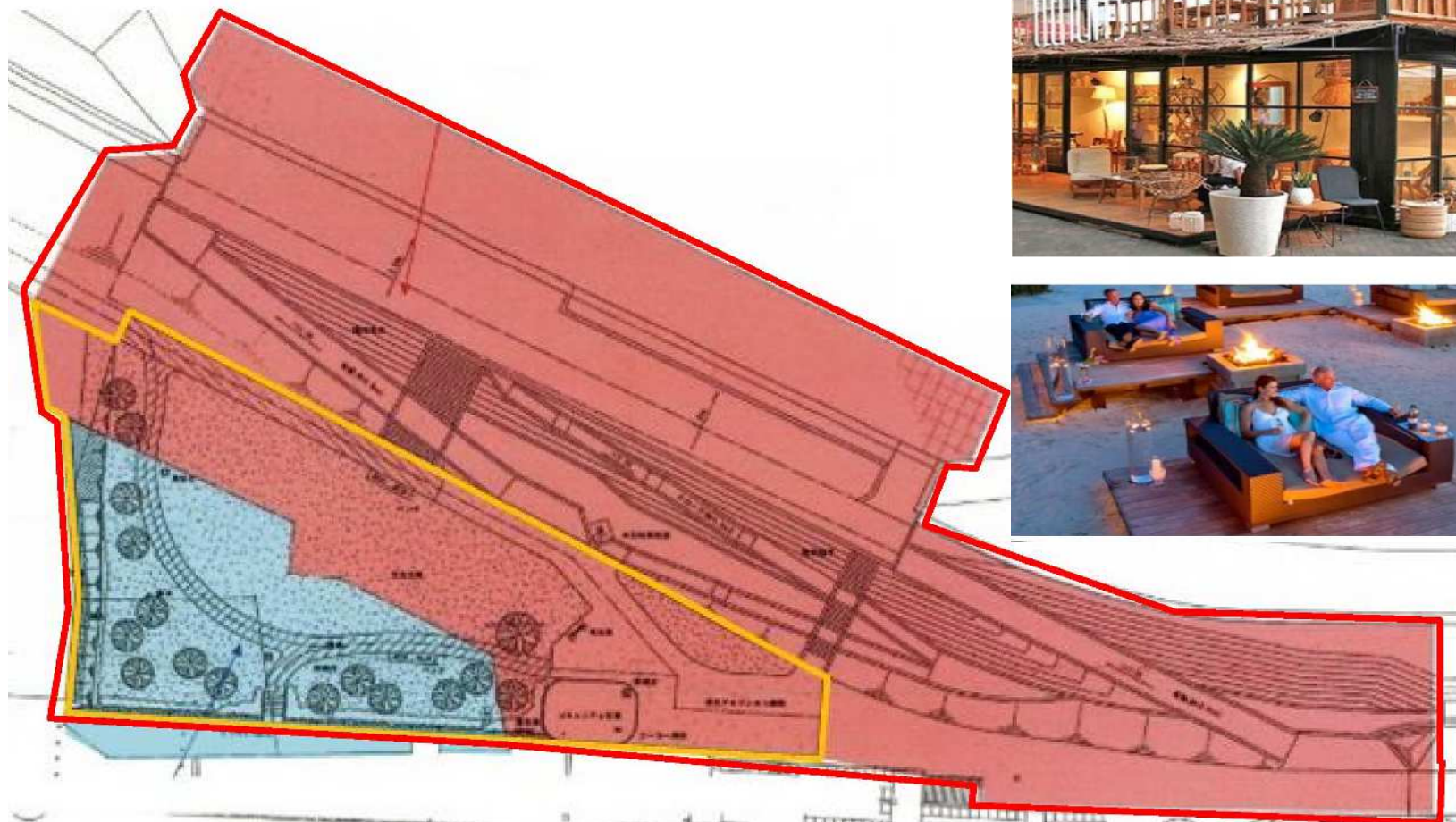
## 制度別詳細2-2(河川敷地占用に関する事項)河川敷地占用許可準則22

事業番号3

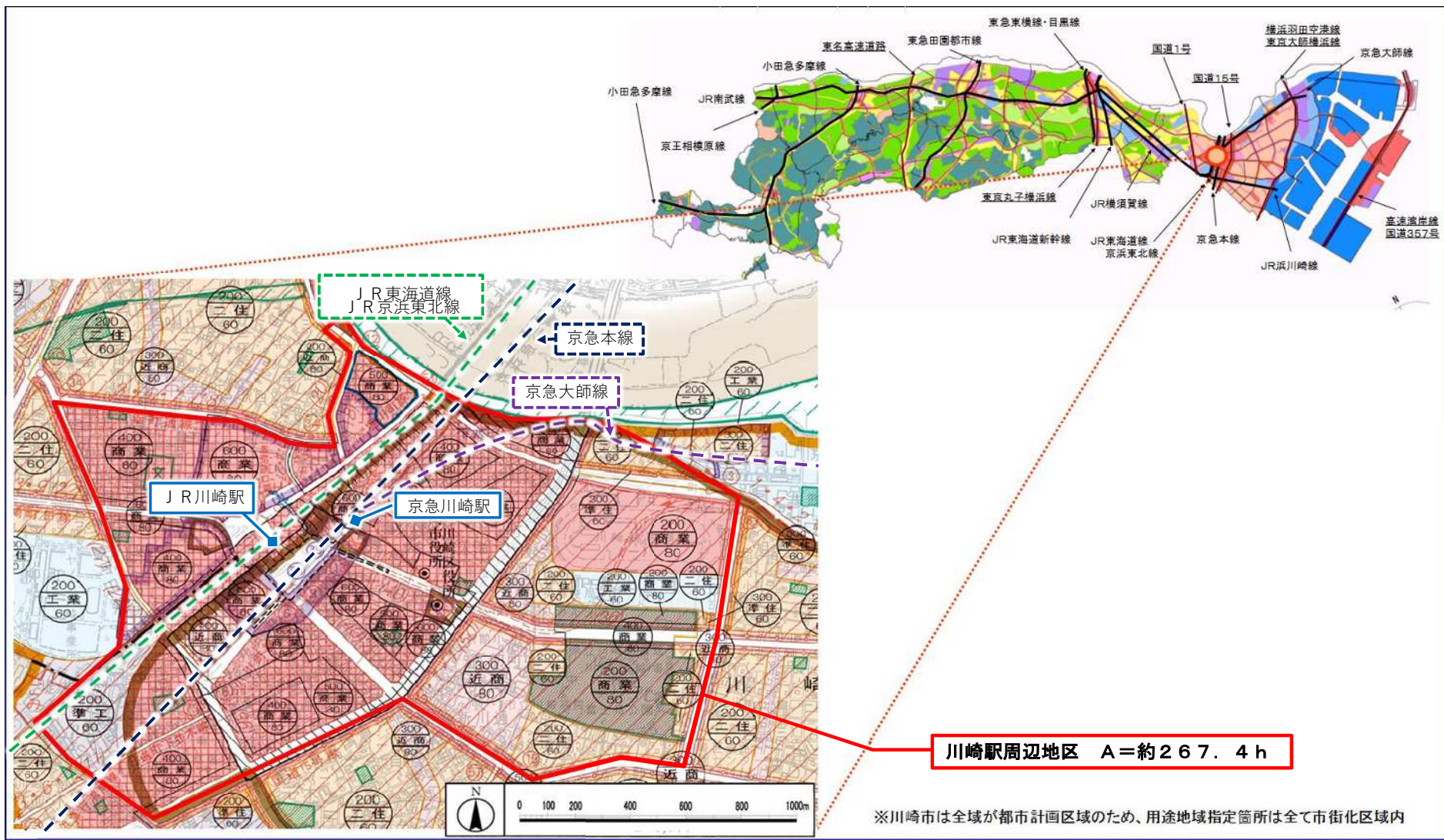
### 制度別詳細【河川敷地占用許可準則】: 食事施設

制度を活用して整備・設置する施設等の配置を示す地図

飲食施設（常設オープンカフェ・テーブル・椅子  
自転車駐車場、看板又は広告塔 等）  
※イメージ



川崎駅周辺地区(神奈川県川崎市)	面積	267.4 ha	区域 川崎区砂子1丁目、砂子2丁目、駅前本町、榎町、小川町、新川通、日進町、東田町、富士見1丁目、富士見2丁目、堀之内町、本町1丁目、本町2丁目、南町、宮前町、宮本町、幸区大宮町、中幸町3丁目、中幸町4丁目、川崎区旭町1丁目、池田1丁目、大島1丁目、境町、下並木、堤根、幸区堀川町、南幸町2丁目、南幸町3丁目、柳町、幸町1丁目、幸町2丁目、幸町3丁目の一部
------------------	----	----------	---



※川崎市は全域が都市計画区域のため、用途地域指定箇所は全て市街化区域内

# 都市再生整備計画の添付書類等

## 交付対象事業別概要

カワ サキ エキシユウヘンチ ク ダイ キ      カ ナ ガワ カワ サキ シ  
川崎駅周辺地区(第5期) (神奈川県川崎市)

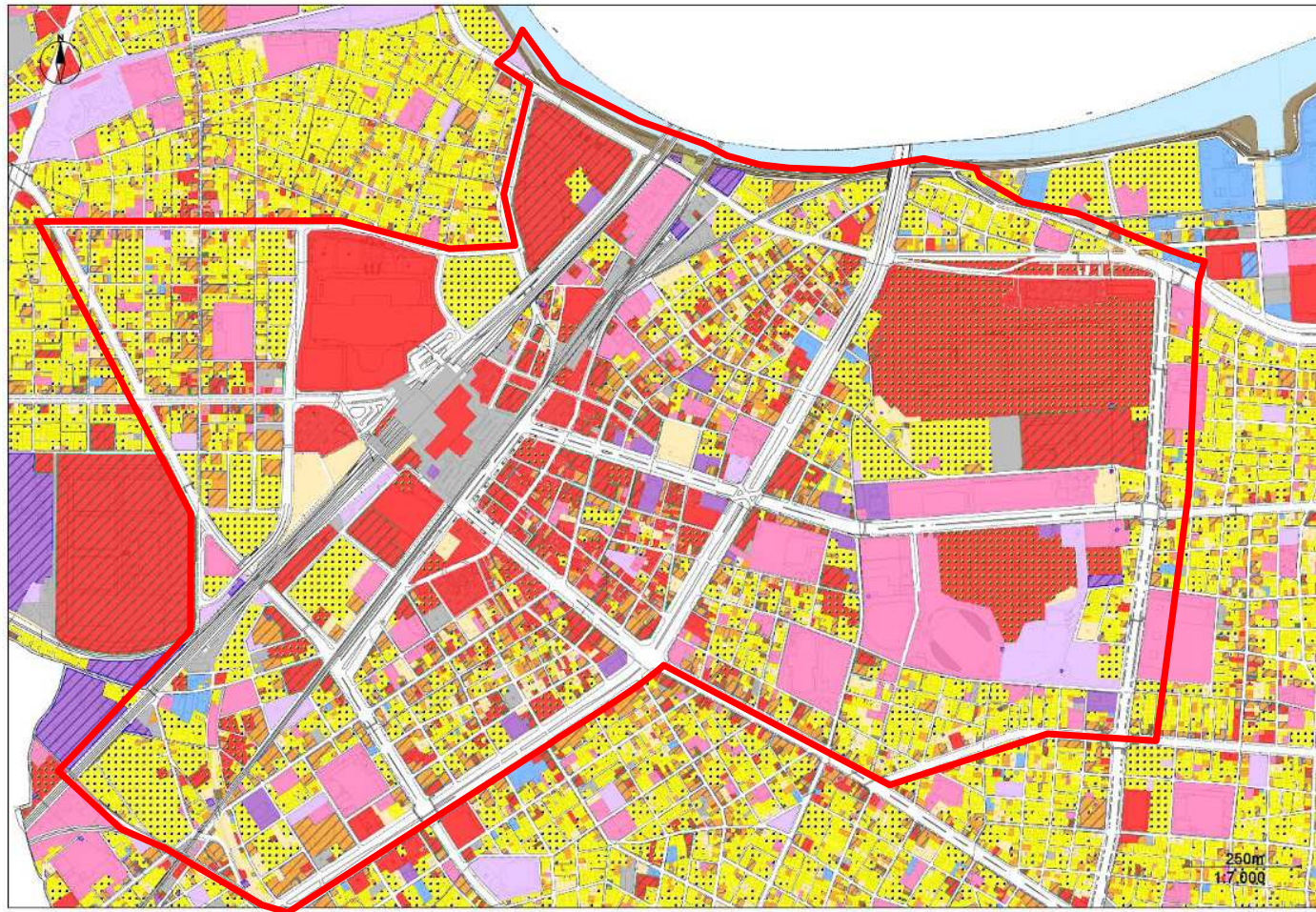
# 川崎駅周辺地区(神奈川県川崎市) 現況図

## 凡例

### 【土地利用分類】

- 農地(田)
- 農地(畑)
- 農地(農業施設)
- 耕作放棄地
- 平坦地山林
- 傾斜地山林
- 河川、水面、水路
- 荒地、海浜、河川敷
- 住宅用地
- 集合住宅用地
- 店舗併用住宅用地
- 作業所併用住宅用地
- 併用集合住宅用地
- 業務施設用地
- 商業用地
- 宿泊娯楽施設用地
- 重化学工業用地
- 軽工業用地
- 運輸施設用地
- 公共用地
- 供給処理施設用地
- 文教・厚生用地
- 公共空地
- 民間空地
- その他の空地
- 防衛用地
- 道路用地
- 鉄道用地

R2\_基礎調査現況図



交付限度額算定表(その1)

川崎駅周辺地区(第5期)(神奈川県川崎市)

様式(2)-③

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額の合計(X)	3,111.0 百万円	規則第16条第1項に基づく交付限度額(Y)	6,663.0 百万円	X ≤ Yゆえ、本計画における交付限度額	3,111.0 百万円
-----------------------------	-------------	-----------------------	-------------	----------------------	-------------

規則第16条第1項に基づく限度額算定

公共施設の上限整備水準	1,203,300
-------------	-----------

区域面積(㎡)	2,674,000	
当該区域の特性に応じて国土交通大臣が定める割合		
○	区域の面積が10ha未満の地区	0.50
	最近の国勢調査の結果による人口集中地区内	0.45
	その他の地域	0.40

駅前本町25番地区無	0
------------	---

単位面積あたりの標準的な用地費	
標準地点数	
公示価格の平均値(円/㎡)	
単位面積あたりの標準的な補償費	
当該区域内の戸数密度(戸/㎡)	
標準補償費(円/戸)	44,000,000

	23,000
--	--------

	0
--	---

まちづくり交付金とは別に国庫補助事業等により整備する施設

施設名(事業名)	面積(㎡)	国庫補助事業費等(百万円)
合計	0	0

公共施設の現況整備水準	623887
-------------	--------

整備水準が明らかになっている類似市街地等からの推定	
推定現況整備水準(小数第2位まで)	
推定公共施設面積(㎡)	0

個別公共施設の積み上げ

	面積(㎡)	割合
道路	390,210	0.15
公園	181,966	0.07
広場	46,900	0.02
緑地	4,811	0
公共施設合計	623,887	0.23

Cnを考慮しない場合の交付限度額(Y1)	6663 百万円
----------------------	----------

	0
--	---

下水道	0 円
区域面積(㎡)	2,674,000
うち現況の供用済み区域面積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	3,600

地域交流センター等の公益施設(建築物)	0 円
---------------------	-----

上限床面積(㎡)	9,400
標準整備費(円/㎡)	380,000

調整池	0 円
-----	-----

調整池の容積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	140,000

河川	0 円
----	-----

河川整備延長(m)	
標準整備費(円/m)	3,700,000

住宅施設	0 円
------	-----

建設予定戸数(戸)	超高層		
	一般		
	合計	0	
標準整備費(円/戸)	超高層	一般	
	北海道特別地区	41,310,000	33,500,000
	北海道一般地区	38,190,000	30,990,000
	特別地区	49,120,000	35,690,000
	大都市地区	37,170,000	30,180,000
	多雪寒冷地区	41,510,000	32,370,000
	奄美地区	39,520,000	35,640,000
	沖縄地区	30,280,000	30,280,000
	一般地区	33,700,000	28,640,000

市街地再開発事業による施設建築物	0 円
------------------	-----

施設建築物の延べ面積(㎡)	
標準共同施設整備費(円/㎡)	132,000

電線共同溝等	0 円
--------	-----

電線共同溝等延長(m)	
標準整備費(円/m)	680,000

人工地盤	0 円
------	-----

人工地盤の延べ面積(㎡)	
標準整備費(円/㎡)	5,300,000

協議して額を定める大規模構造物等	0 円
------------------	-----

大規模構造物等	協議状況	整備費(円)

Cnを考慮した場合の交付限度額(Y2)	6663 百万円
---------------------	----------

各事業の交付要綱に掲げる式による交付限度額(活用する交付金の欄のみご記載ください。)

<都市構造再編集集中支援事業>

交付限度額(X1)	2,911.0 百万円
-----------	-------------

<都市再生整備計画事業>

交付限度額(X2)	百万円
-----------	-----

<まちなかウォークアブル推進事業>

交付限度額(X3)	200.0 百万円
-----------	-----------

## 交付限度額算定表(その2)(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-④-1

【当初から都市構造再編集中支援事業を実施する地区の場合】

※本シートについて、各自治体が交付限度額を算出する上での参考として添付しているものです。事業毎に状況が異なりますので、各自治体の責任において適切に交付限度額を算出するようお願いいたします。

### 交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

#### ○ 交付対象事業費

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(事業費の単位:百万円)

<都市機能誘導区域内>

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	5,772.000
	提案事業合計(B)	50.000
	合計(A+B)	5,822.000

(事業費)  
(事業費)  
(事業費)

以下の2つの条件それぞれについて、該当する場合は0を入力。

都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合	
提案事業枠2割拡充の適用	

※都市機能誘導区域面積割合:都市機能誘導区域(地域生活拠点を含む)の面積の市街化区域等(市街化区域又は非線引き用途地域)の面積に占める割合。

<都市機能誘導区域外(地域生活拠点内を除く)>

交付対象事業費	基幹事業合計	
	うち、基幹事業:こどもまんなかまちづくり事業にかかる事業費	
	基幹事業合計(C)	0.000
	提案事業合計(D)	
	合計(C+D)	0.000

(事業費)

$(10/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D)) + (10/10 \times (E+F))$ ( $\alpha$ 1)	5,822.000	①
※都市機能誘導区域面積割合が50%以上の場合: $(9/10 \times (A+B)) + (9/10 \times (C+D)) + (10/10 \times (E+F))$		
$(10/9 \times (A+C+E))$ ( $\alpha$ 2)	6,413.333	②
※提案事業2割拡充を適用する場合: $(10/8 \times (A+C+E))$		
$\alpha$ (①、②の小さい方)	5,822.000	③

(事業費)

交付限度額(③+④) × 1/2      2,911.000      ⑤ (国費)

<地域生活拠点内>

交付対象事業費	基幹事業合計(E)	
	提案事業合計(F)	
	合計(E+F)	0.000

(事業費)  
(事業費)  
(事業費)

<居住誘導促進事業>

交付対象事業費	合計(a)	
---------	-------	--

(事業費) ④

#### ○ 交付限度額、国費率

交付対象事業費(A+B+C+D+E+F+a)	5,822.0
------------------------	---------

(事業費)

交付要綱に基づく交付限度額 (⑤を1万円の位を切り捨て)	2,911.0	(国費)
国費率	0.500	(国費率)

交付限度額算定表(その2)(まちなかウォークابل推進事業)

川崎駅周辺地区(第5期)(神奈川県川崎市)

様式(2)-④-3

社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による限度額算定(詳細)

※水色のセルに事業費等必要事項を入力して下さい。(百万円単位)

単位:百万円

○交付対象事業費(必ず入力) (百万円) (百万円)

交付対象事業費	基幹事業合計(A)	400.000	A (事業費)	1)式で求まる額(5/10*(A+B))	200.000	①(国費)
	提案事業合計(B)	0.000	B (事業費)	2)式で求まる額(5/8*A)	250.000	②(国費)
	合計(A+B)	400.000	(事業費)	上記①、②の小さい方	200.000	③(国費)
	提案事業割合(B/(A+B))	0.000		国費率(③÷(A+B))	0.500	④(国費率)

○交付限度額、国費率の算出

交付対象事業費(A+B)	400.0	(事業費)	社会資本整備総合交付金交付要綱に掲げる式による交付限度額(⑬を1万円の位を切り捨て)	200.0	⑬(国費)
			国費率	0.500	⑭(国費率)

年次計画(都市構造再編集中支援事業)

様式(2)-⑤-1

(事業費:百万円)

基幹事業										
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
道路		県道主要地方道川崎府中改築	川崎市	202	202					
道路		地区内道路2改築	川崎市	27	27					
道路		(仮称)駅前本町14号線	川崎市	4,920	1,784	2,627	239	270		
公園										
古都保存・緑地保全等事業										
河川										
下水道										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設 人工地盤		国道409号デッキ整備	川崎市	520		20	250	250		
高質空間形成施設		駅前本町線歩道高質空間化	川崎市	48	48					
高質空間形成施設		駅前本町25番地区無電柱化補助	川崎市	55	55					
高次都市施設	地域交流センター									
	観光交流センター									
	テレワーク拠点施設									
	賑わい・交流創出施設									
	子育て世代活動支援センター									
	複合交通センター									
誘導施設	医療施設									
	社会福祉施設									
	教育文化施設									
	子育て支援施設									
	元地の管理の適正化									
基幹的誘導施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
住宅街区整備事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
優良建築物等整備事業										
住宅市街地総合整備事業										
街なみ環境整備事業										
住宅地区改良事業等										
都心共同住宅供給事業										
公営住宅等整備										
都市再生住宅等整備										
防災街区整備事業										
エリア価値向上整備事業										
こどもまんなかまちづくり事業										
計				5,772	2,116	2,647	489	520	0	0
提案事業										
事業	細項目	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
地域創造 支援事業	既存ストック活用事業費補助	-	川崎市	30	6	6	6	6	6	
	公共空間利活用支援	-	川崎市	5	1	1	1	1	1	
	まちなかアート推進補助	-	川崎市	5	1	1	1	1	1	
事業活用 調査	都市再生整備計画事業効果検証調査	-	川崎市	10						10
まちづくり活動 推進事業										
計				50	8	8	8	8	18	0

居住誘導促進事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
居住誘導促進事業									
計			0	0	0	0	0	0	0
合計			5,822	2,124	2,655	497	528	18	0
累計進捗率 (%)				36.5%	82.1%	90.6%	99.7%	100.0%	100.0%

(参考)都市構造再編集中支援事業関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
合計			0	0	0	0	0	0	0
累計進捗率 (%)				0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

(参考)関連事業

事業	事業箇所名	事業主体	全体 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
市街地再開発事業	川崎市川崎区駅前本町16番他	民間	406	3	391	6	0	6	
市街地再開発事業	川崎市川崎区駅前本町16番他	民間	2,011	0	216	1,458	337	0	
優良建築物等整備事業	川崎市川崎区駅前本町25番	民間	2,438	357	600	690	444	347	
優良建築物等整備事業	川崎市川崎区砂子1丁目	民間	60	15	25	20			
合計			4,915	375	1,232	2,174	781	353	0
累計進捗率 (%)				7.6%	32.7%	76.9%	92.8%	100.0%	100.0%

年次計画(まちなかウォークラブル推進事業)

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
事業	細項目									
道路		駅前本町線改築	川崎市	250	250					
公園										
駐車場有効利用システム										
地域生活基盤施設										
高質空間形成施設										
既存建造物活用事業										
土地区画整理事業										
市街地再開発事業										
バリアフリー環境整備促進事業										
街なみ環境整備事業										
滞在環境整備事業		官民連携による公共空間の利活用促進	川崎市	150	30	30	30	30	30	30
計				400	280	30	30	30	30	0

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
事業	細項目									
地域創造 支援事業										
事業活用 調査										
まちづくり活動 推進事業										
計				0	0	0	0	0	0	0
合計				400	280	30	30	30	30	0
累計進捗率 (%)					70.0%	77.5%	85.0%	92.5%	100.0%	100.0%

事業		事業箇所名	事業主体	交付対象 事業費	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	令和12年度	
事業	細項目									
市街地再開発事業		川崎市川崎区駅前本町16番他	民間	406	3	391	6	0	6	
市街地再開発事業		川崎市川崎区駅前本町16番他	民間	2,011	0	216	1,458	337	0	
優良建築物等整備事業		川崎市川崎区駅前本町25番	民間	2,438	357	600	690	444	347	
優良建築物等整備事業		川崎市川崎区砂子1丁目	民間	60	15	25	20			
合計				4,915	375	1,232	2,174	781	353	0
累計進捗率 (%)					7.6%	32.7%	76.9%	92.8%	100.0%	100.0%

# 道路

単位:百万円

都市計画道路名 又はその他道路名	区間	道路 区分	事業 主体	事業 手法	工種	延長 m	幅員		整備後 車線数 車線	歩道 幅員 m	交付期間 内事業費	交付期間内事業費内訳			交付期間内 事業期間 (年度)	事業内容 注3)	都市計画 決定 年月	備考 注4)
							整備前 m	整備後 m				設計費	用地費	施設整備費				
<道路>				-														
県道主要地方道川崎府中	幸町交差点～川崎駅前東交差点	地	市	-		約360	13	13	2	2.5	202			202	令和8年度	道路改築(相互通行化等)		都市構造再編集中支援事業 道路改築:交通量(16,870台/日)
駅前本町線	川崎府中線～川崎駅前東交差点	街	市	-		約100	17.94	17.94	1	8.44	250			250	令和8年度	道路改築 (交通運用切替/歩行者専用道路化)		まちなかウォークブル推進事業 道路改築:交通量(9,547台/日)
地区内道路2改築		市	市	-		約100	10	10	1	2.5	27			27	令和8年度	道路改築(交通運用切替)		都市構造再編集中支援事業 道路改築(1,020台/日)
(仮称)駅前本町14号線		市	市	-		約330	4	12	2	2.5	4,920	25	4,039	856	令和8～11年度	道路改築(道路拡幅)		都市構造再編集中支援事業
	～			-														

(参考)

<関連事業>																		

\* 本調書には7)交付対象事業「道路」(街路、地方道、国道、その他)、1)関連事業道路のすべてを記載すること。

注1) <道路>については、街、地、国、他の別を記載。

<関連事業>については、国、主、一、市の別を記載。

ただし、街:街路、地:地方道(市町村道)、国:国道、主:主要地方道、一:一般都道府県道、市:市町村道、他:いずれにも該当しないもの

注2) <関連事業>について通、交、地特、単独、促の別等を記載。補足説明すべき点は備考欄に説明を記載。

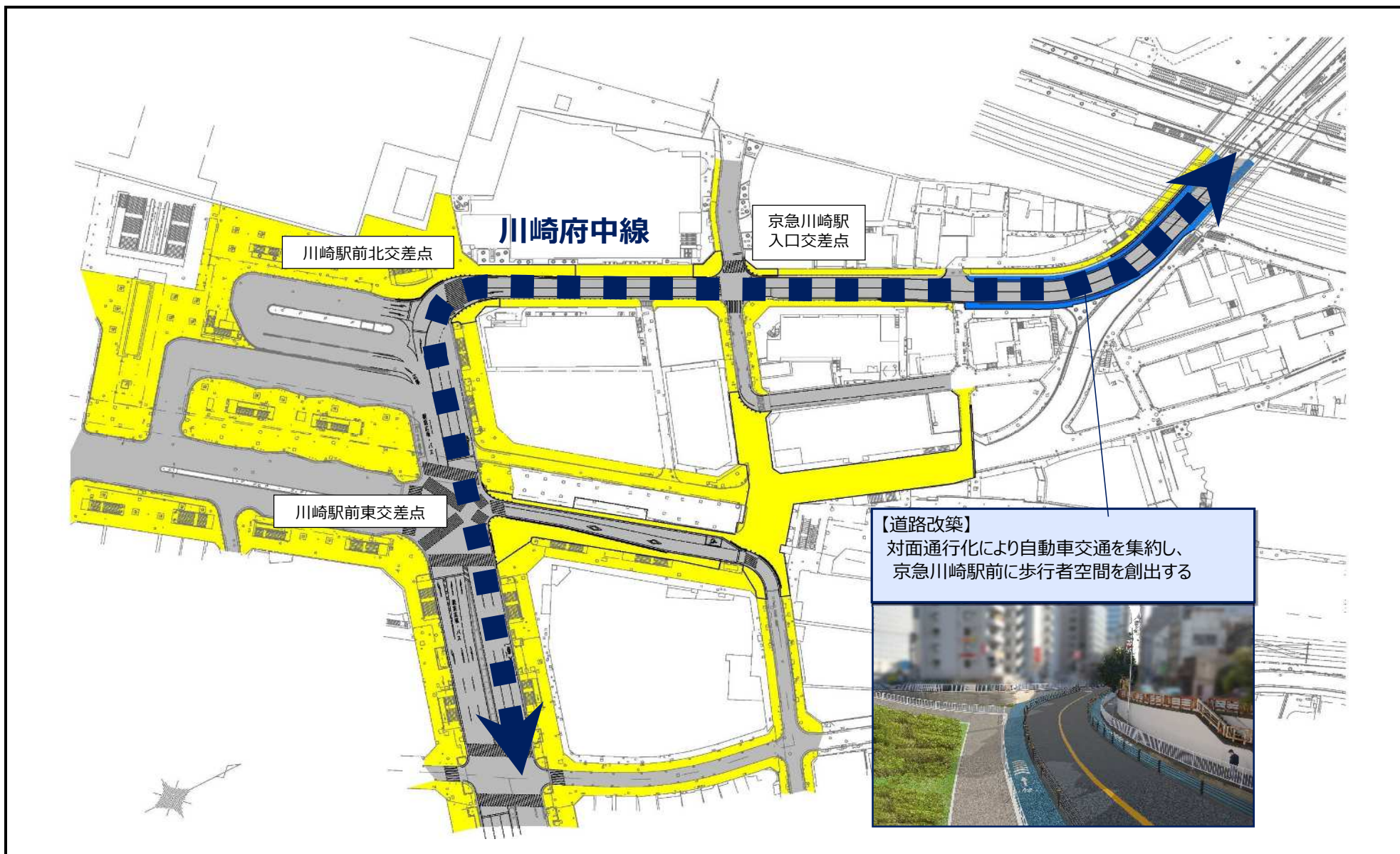
注3) 施設の構造、工法、及び地方道事業においては細工種、街路事業においては沿道区画整理型街路事業等の事業名

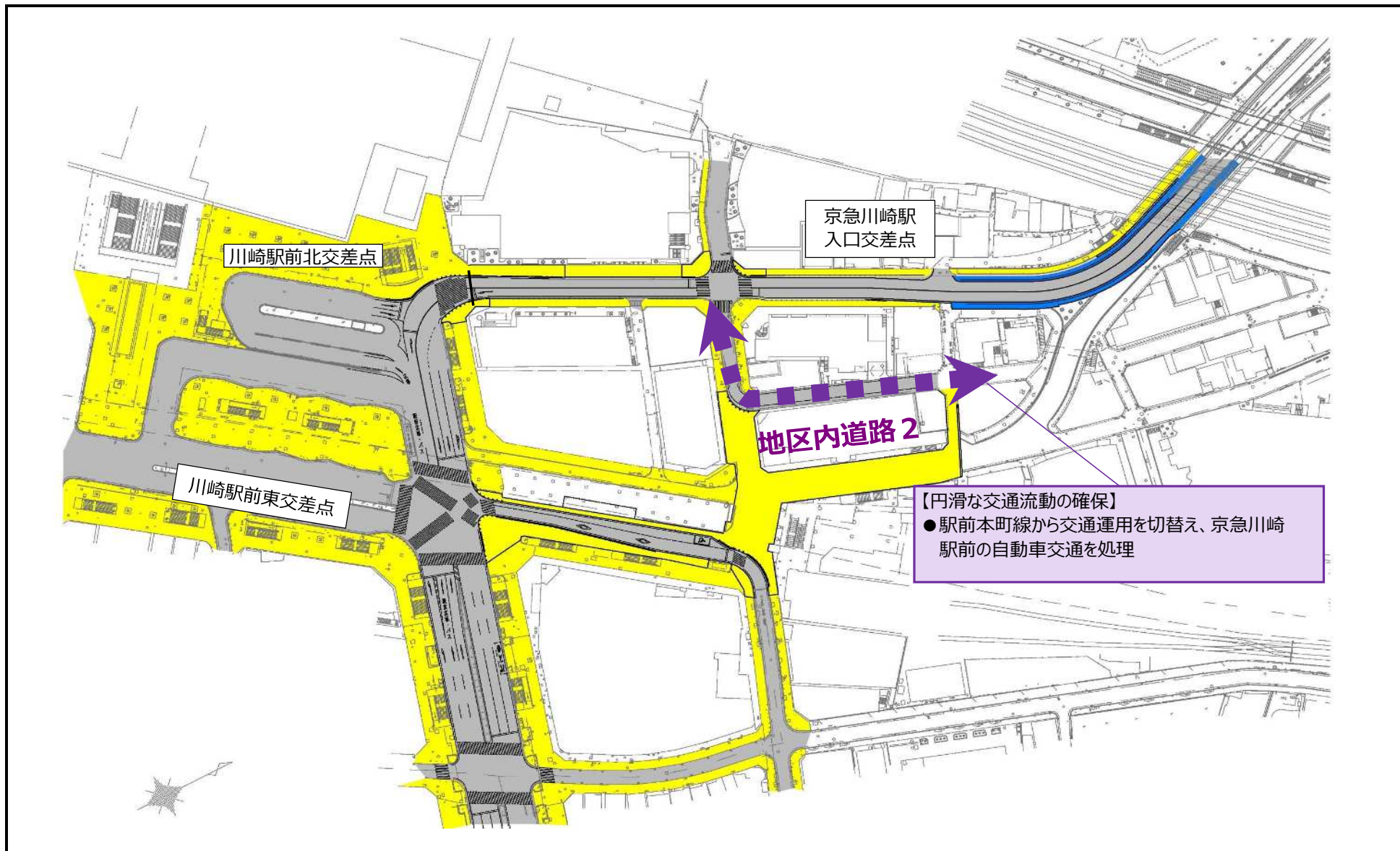
注4) 備考には現在の道路状況を把握するために必要なその他の事項で、交通量(人/日)、混雑度等を記載

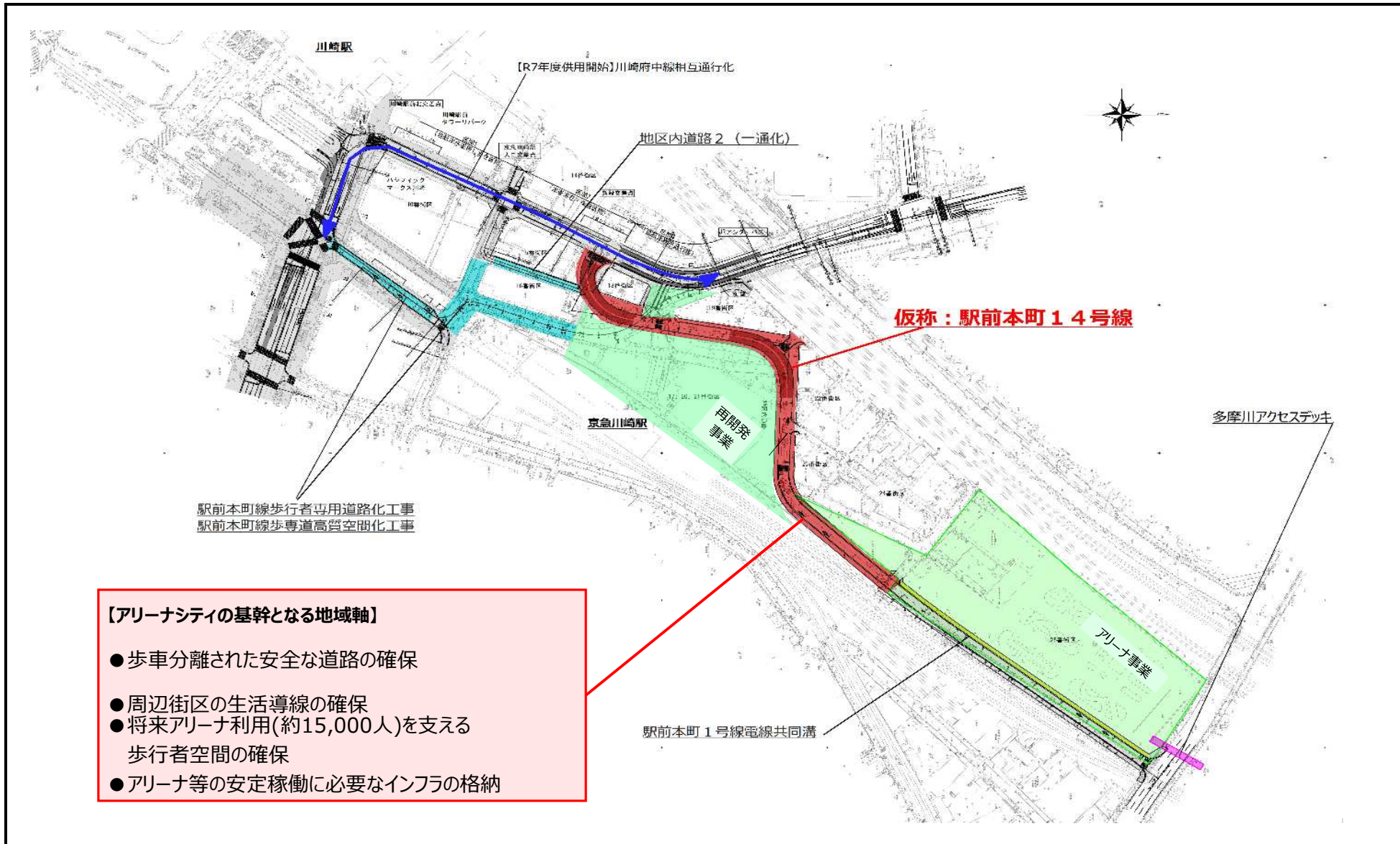
(例):道路改築:交通量(人/日)、混雑度等

・自転車駐車場:都市計画決定の有無、面積、利用台数等

\* 不足する場合は適宜行を追加すること

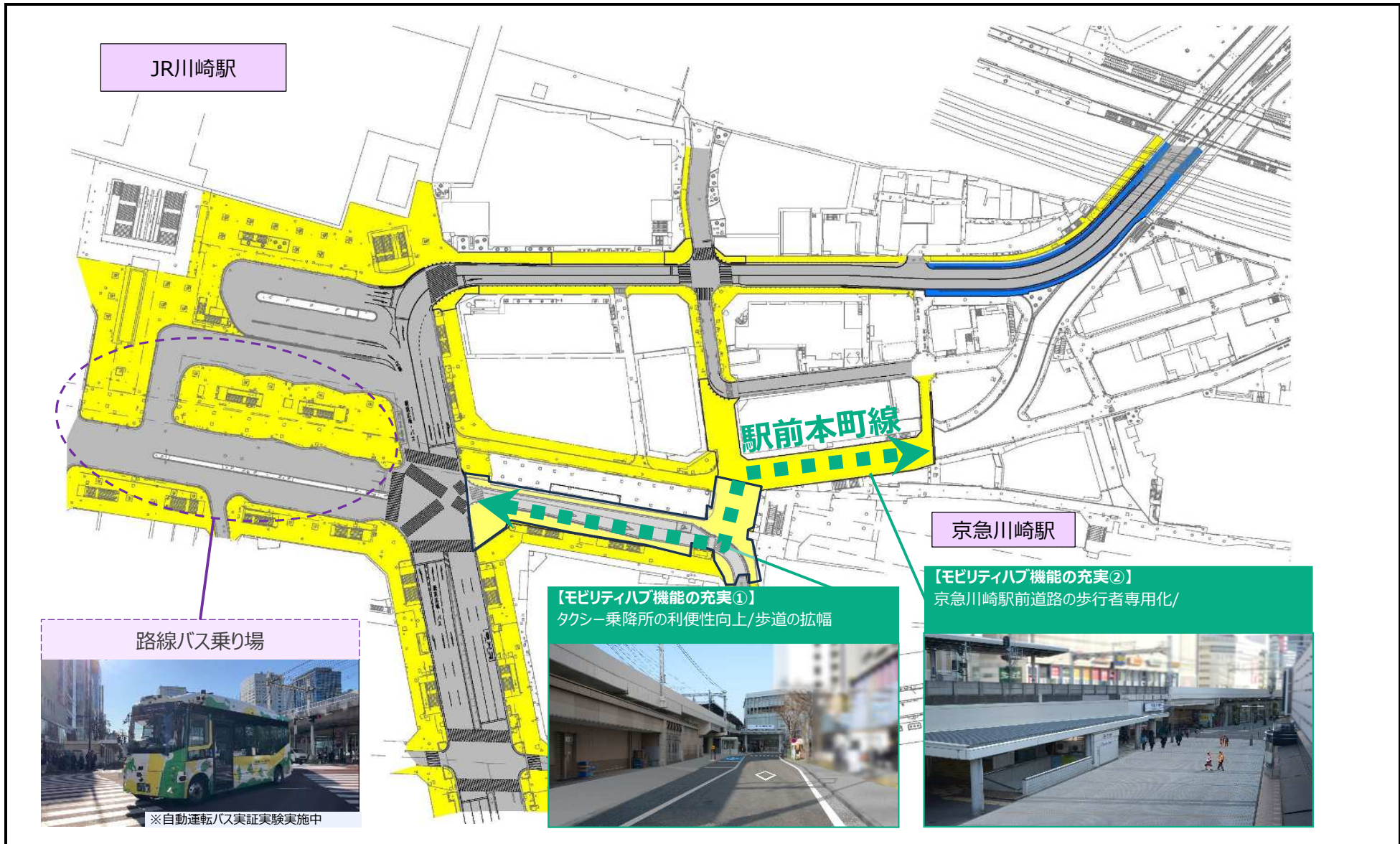






【アリーナシティの基幹となる地域軸】

- 歩車分離された安全な道路の確保
- 周辺街区の生活導線の確保
- 将来アリーナ利用(約15,000人)を支える歩行者空間の確保
- アリーナ等の安定稼働に必要なインフラの格納

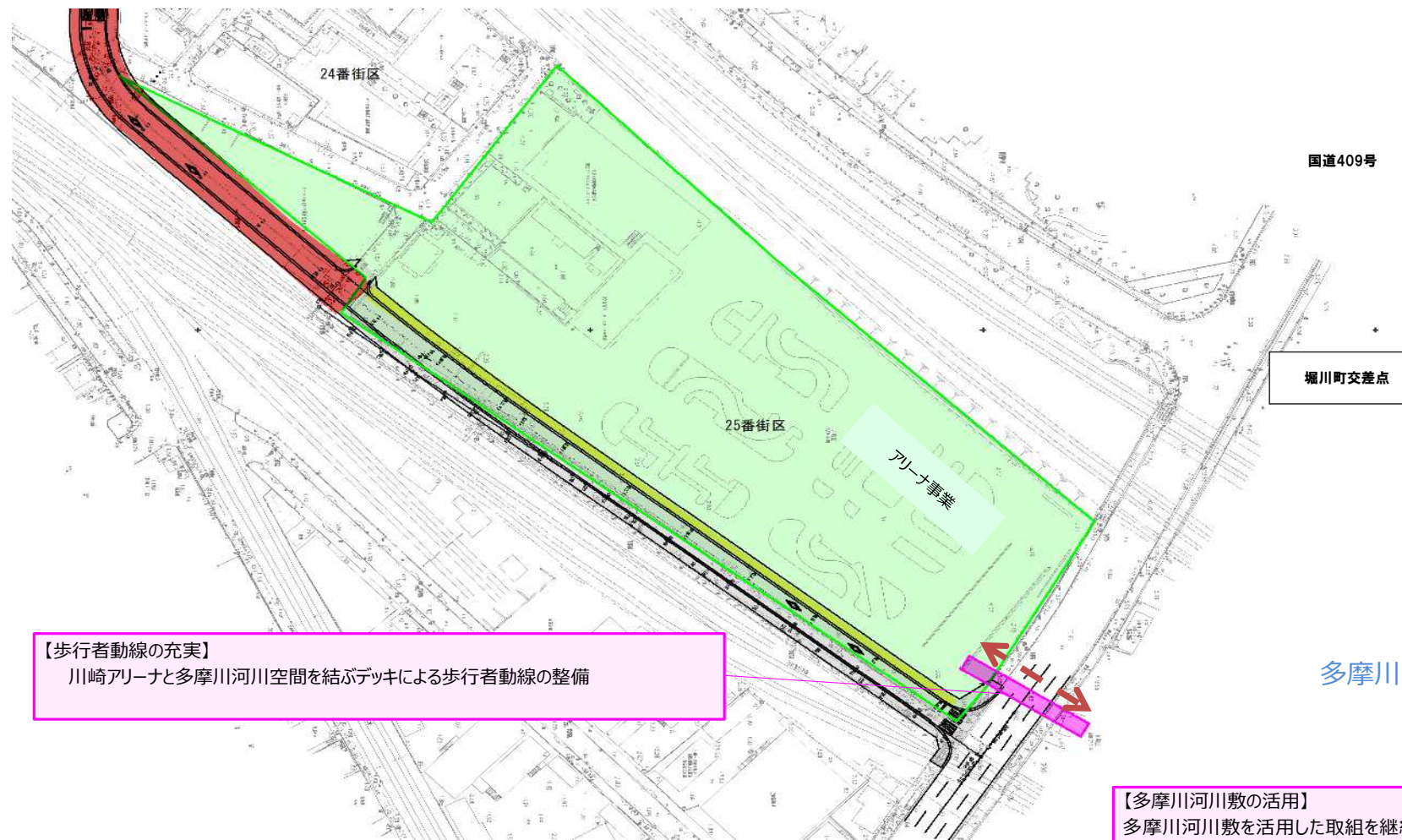


## 地域生活基盤施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	概要 (面積、幅員、 延長、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳				備考
					設計費	用地費	施設整備費	うち購入費	
緑地								—	
広場								—	
駐車場									
自転車駐車場									
荷物共同集配施設									
公開空地								—	
情報板								—	
地域防災施設	施設種別:								
人工地盤	立体横断施設	川崎市	幅員4m、延長30m	520	20	—	500	—	都市構造再編集中 支援事業
合計	—	—	—						

- ・施設名ごとに1行ずつ記入。足りない場合は、適宜行を追加すること。
- ・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)
- ・「駐車場」、「自転車駐車場」については、「概要」欄に、形式(立体〇層、タワーパーキング、地下駐輪場等)、面積及び駐車台数を記入。
- ・駐車場については、「備考」欄に駐車場全体の整備に要する費用を記入。
- ・自転車駐車場については、「備考」欄に都市計画決定の有無、自転車駐車施設整備計画における位置づけの有無、自転車駐車場に関する附置義務条例等における位置づけの有無を記入すること。
- ・駐車場には、共同駐車場、荷捌き駐車場、駐車場出入口付替等を含む。
- ・地域防災施設の「施設名」欄には、耐水性貯水槽、備蓄倉庫、放送施設、情報通信施設、発電施設、排水再利用施設、避難空間等の施設の種別を記入。
- ・共同駐車場については、別の所定のシートに記載すること。



【歩行者動線の充実】

川崎アリーナと多摩川河川空間を結ぶデッキによる歩行者動線の整備

【多摩川河川敷の活用】

多摩川河川敷を活用した取組を継続的に実施し、多摩川活用の推進と将来の担い手を発掘

## 高質空間形成施設

単位:百万円

交付対象施設	施設名 (路線名等)	事業主体	規模 (箇所数、延長等)	概要 (整備内容等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
						設計費	用地費・補償費	施設整備費	
緑化施設等(植栽・緑化施設、せせらぎ・カスケード、カラー舗装・石畳、照明施設、ストリートファニチャー・モニュメント、給電・給排水施設、土塁、堀跡等)	駅前本町線歩専道 高質空間化	川崎市	延長約70m	植栽・緑化施設、照明施設、給電・給排水施設等	48			48	都市構造再編集中支援事業
電線類地下埋設施設	駅前本町25番地地区無電柱化補助	民間	延長約210m	電線共同溝	55			55	要請者負担方式 都市構造再編集中支援事業
電柱電線類移設									
地域冷暖房施設							—	—	
歩行支援施設、障害者誘導施設等									
公共公益施設と一体的に整備する情報化基盤施設									
合計	—	—	—						

・「事業主体」欄には、事業の施行者を記入。(間接交付の場合は、交付金事業者ではなく、「第三セクター」等の施行者を記入。)

・「電線類地下埋設施設」は、備考欄に地中化の方式(自治体管路等)を記入。

・「緑化施設等」及び「電線類地下埋設」について、道路区域内で整備する場合は、備考欄に道路の都市計画決定の有無、道路の改築を伴うか否かを記入。

・「緑化施設等」について、施設名欄、概要欄に整備内容を具体的に記入。

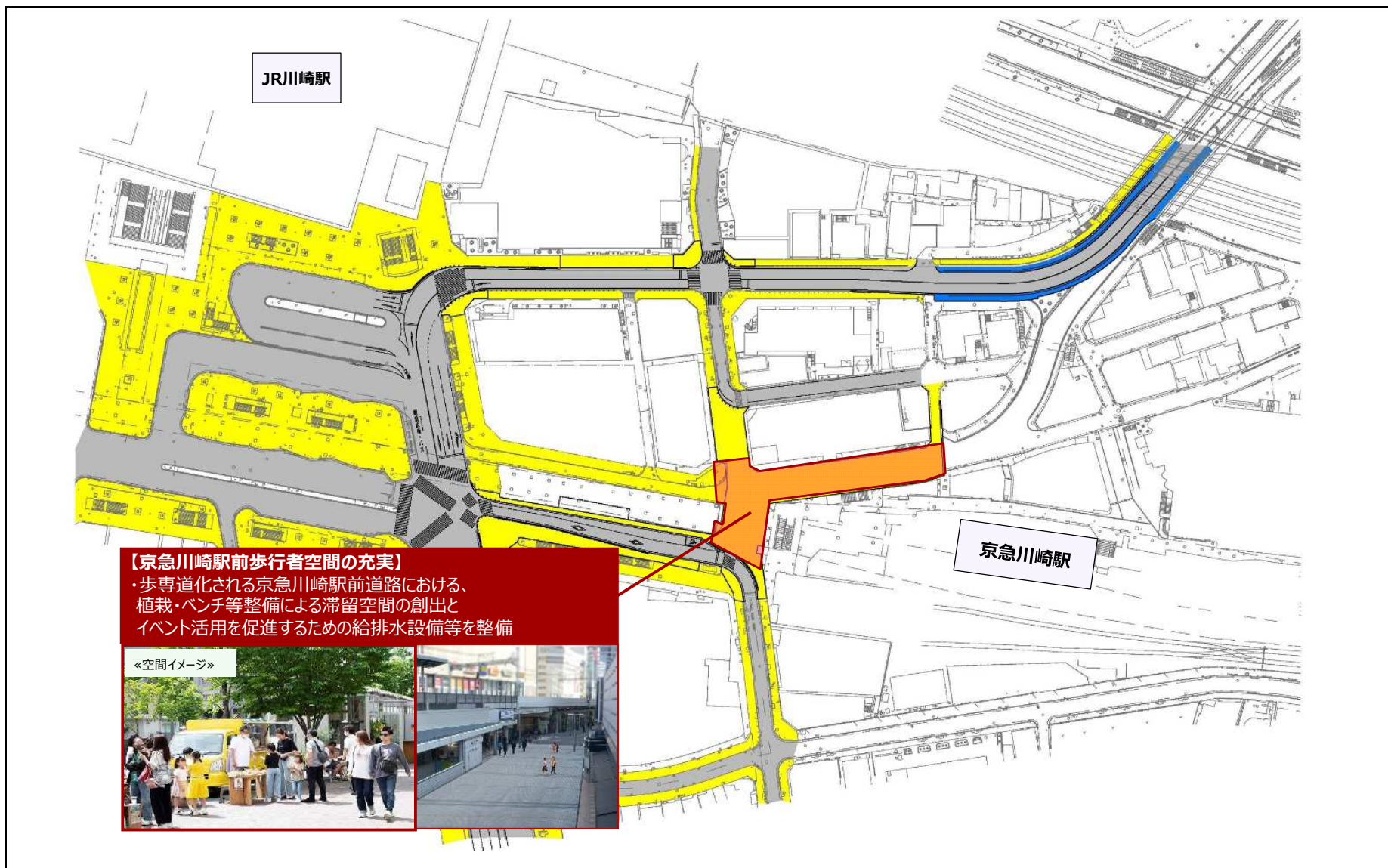
・「電柱電線類移設」を実施する場合には、歴史的風致維持向上計画の当該事業が記載されている箇所及び都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね3分の2以上であることがわかる図面を添付してください。

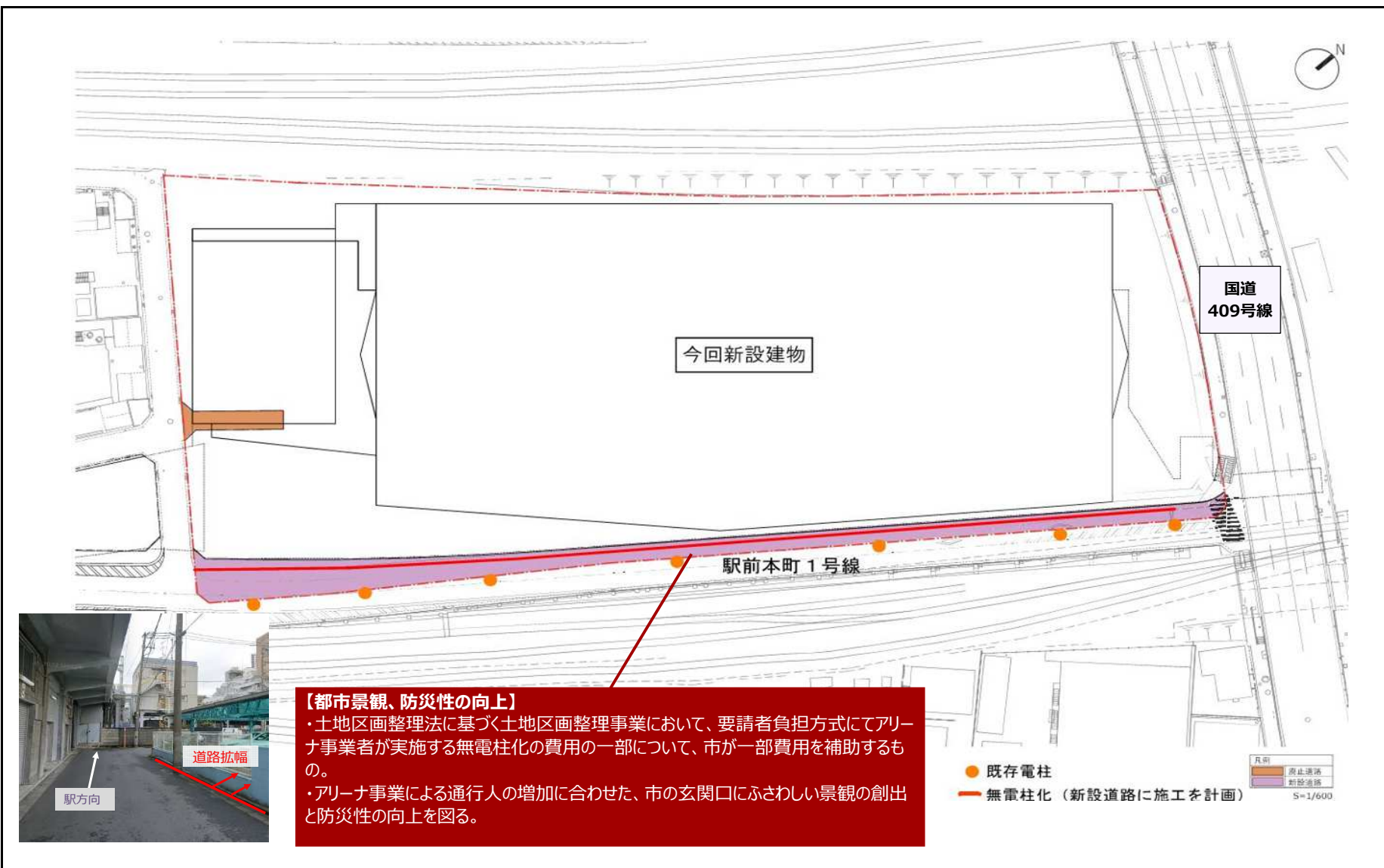
・「緑化施設等」の土塁・堀跡について、次の3点がわかる内容の記入や資料の添付してください。

①文化財保護法第109条第1項の規定に基づく指定を受けた史跡でないこと。

②歴史まちづくり法第5条第8項の規定に基づく認定を受けた歴史的風致維持向上計画に位置付けられていること

③都市再生整備計画の区域と歴史的風致維持向上計画の重点区域の区域が重複する部分が、いずれかの区域の概ね2/3以上であること





滞在環境整備事業

単位:百万円

項目	施設名／調査内容	事業主体	概要 (箇所数、規模等)	交付期間内 事業費	交付期間内事業費内訳			備考
					設計費	用地費・補償費	施設整備費	
滞在環境の向上に資する環境整備(トイレ、倉庫、トランジットモール化に必要な施設等)								
滞在環境整備に関する調査等(社会実験、コーディネート等)	川崎市役所通り、駅前本町線等／参加者満足度、経済波及効果と人流分析、通行規制に伴う周辺道路への影響度調査	川崎市	官民連携による公共空間の快適性向上等の取組検証及び利活用の促進	150	150			まちなかウォークアップ推進事業
滞在者等の滞在及び交流を促進することを目的とした施設								
シェアモビリティの設備整備(ポート、ポートのゲート、精算機及び登録機等)						—	—	
合計	—	—	—	150	150			

・その他記入事項の注意は「地域生活基盤施設」、「高質空間形成施設」のシートと同様。



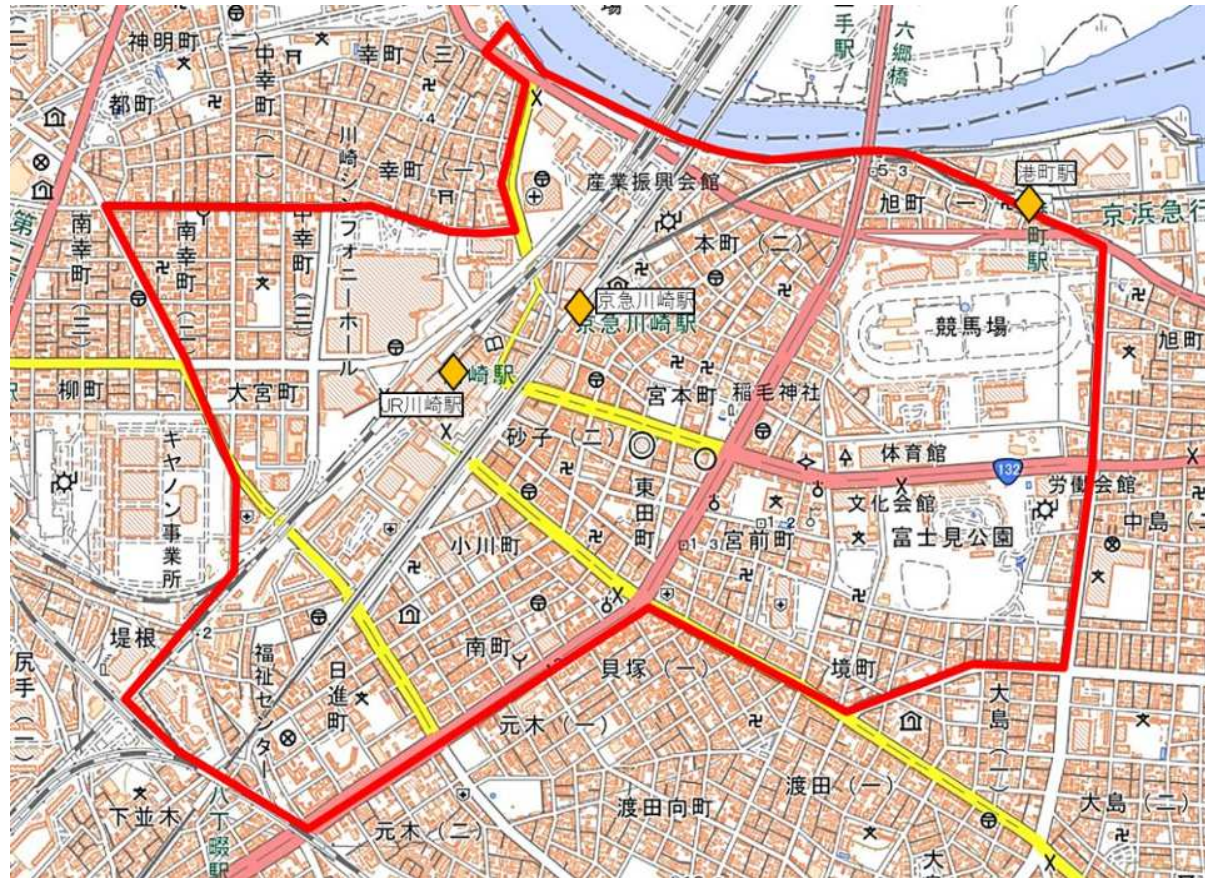
【市役所通り、駅前本町線等】 R8～R12  
官民連携による公共空間の快適性向上等の取組検証及び利活用の促進に向けた社会実験実施





# 提案事業 地域創造支援事業 既存ストック活用事業費補助

都市構造再編集中支援事業



## 【補助対象事業】

国内外からの来街者増や、人々の行動様式の変化を踏まえた、まちの新たな魅力活力を創出する既存ストックのリノベーション事業

## 【補助対象経費】

リノベーションのために必要な改装等工事に係る経費のうち、公共に開かれ、便益が幅広く行き渡るとともに、まちの賑わい創出や地域コミュニティの活性化に資するもの

## 【補助金の額】

- ・補助対象経費の1/2以内
- ・上限300万円

## 【補助対象工事イメージ】

歴史資源の活用や歩きたくなる街並みづくりに資するファサード改修

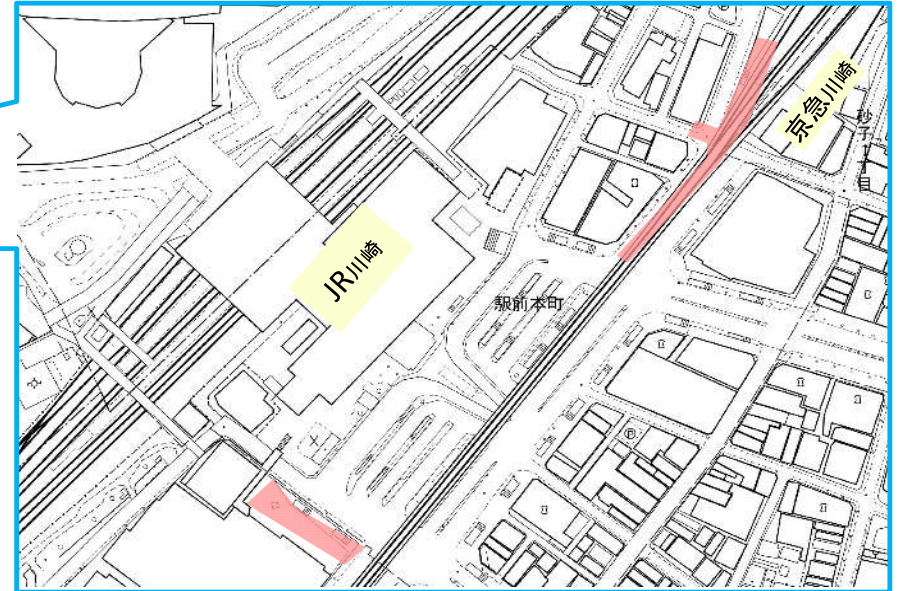
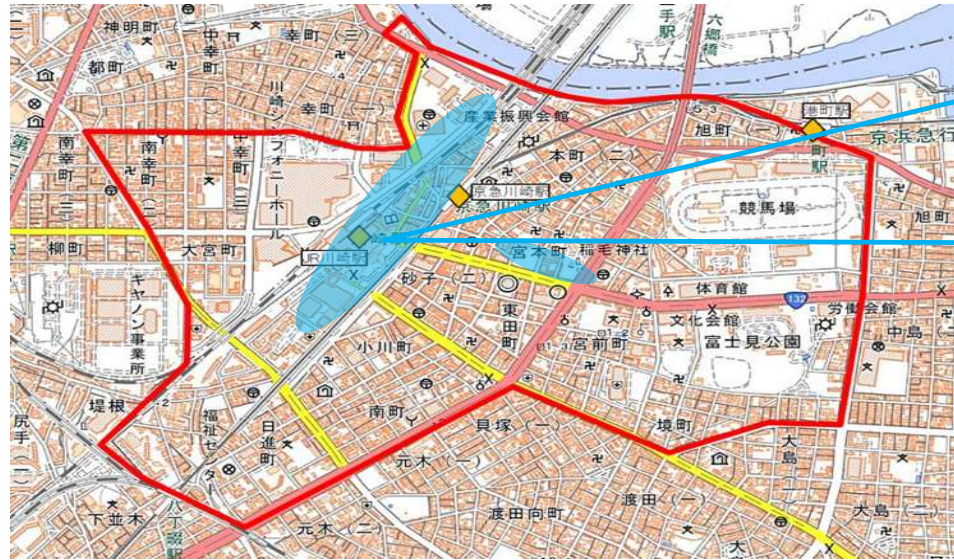


誰もが利用できる展示スペース・休憩スペース等の高質化



トイレの洋式化・バリアフリー化等、多様な利用者を受け入れるための





【川崎駅周辺の公共空間活用事例】



【目指す効果】

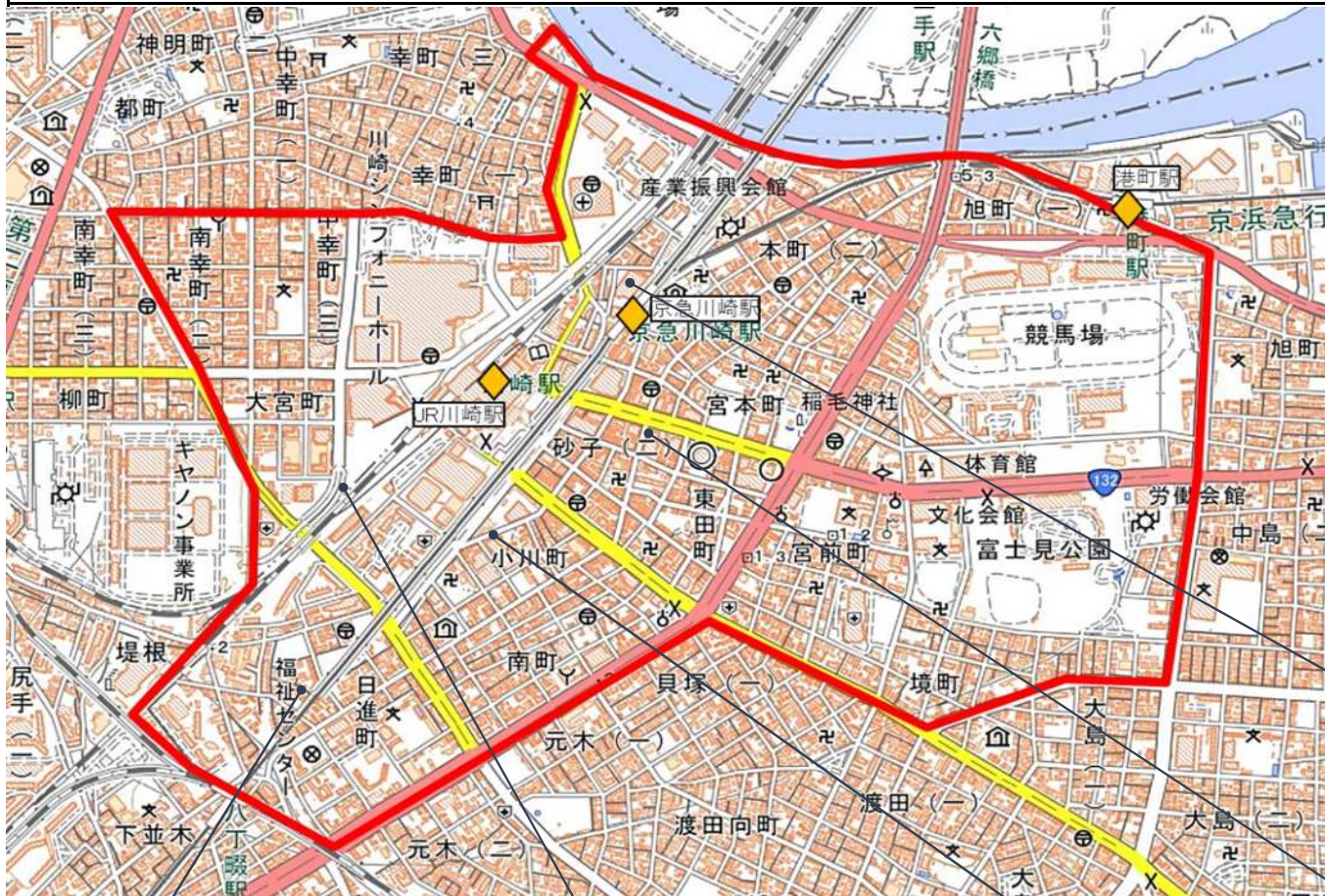
日常的な場の活用による  
賑わい創出及びエリア価値の向上

【取り組みの方向性】

- 川崎駅周辺公共空間の継続的な活用
- 多様な主体がエリア価値向上に向けて、機動的・安定的に広場を活用できる体制・仕組づくり

# 提案事業 地域創造支援事業 まちなかアート推進補助

都市構造再編集中支援事業



## 【補助対象事業】

駅周辺で醸成されたアート資源を活かしながら、回遊性を高め、居心地が良く歩きたくなるまちなかを目指し、賑わい創出や、エリア価値の向上に資する「まちなかアート推進事業」

## 【補助対象経費】

ウォールアート等、まちなかで誰もがアートを体験、体感できるアート作品の設置経費

## 【補助金の額】

補助対象経費の範囲内 上限100万円

### 【駅周辺のアート資源例】

**京急電鉄ウォールアート**  
京浜急行電鉄の線路沿いにある壁面を6枚ずつ使って、4人のアーティストが制作。



### 仮囲いへのミューラルアート

ストリートカルチャーを活用したまちづくりの一環として、本庁舎仮囲いを彩り、本市の文化を市内外に発信し、イメージアップを図ることを目的にミューラルアートを制作。



### ラチッタデッラ

#### 「WALL ART GALLERY」

チッタグループ100周年記念プロジェクトにて、施設内の大型壁面看板にアートを掲出。一般からもアート作品を募集し、優秀作品4作品を掲出。



### シャッター浮世絵ギャラリー

かつての東海道川崎宿にあたる本町、砂子、小川町において、地域の協力を得て通り沿いの店舗シャッターなどに浮世絵や川崎宿をイメージした絵が描かれている。



### カワサキ文化会館

川崎プレイブサンダースが整備・運営する施設において、建物外装や館内には国内外で活躍するアーティストのアートが描かれている。

